

わが家の防災メモ

避難先 (親類・避難所など)	
-------------------	--

家族がはなればなれになったときの集合場所	
----------------------	--

家族の緊急用データ

氏名	生年月日	血液型	電話番号	備考

緊急連絡先

名称	電話番号	住所
設楽町役場	0536-62-0511	田口字辻前14番地
津具総合支所	0536-83-2301	津具字下川原5-1
新城市消防署設楽分署	0536-62-2119	田口字ヒロカイツ48-2・49-2合併地
新城市消防署津具分遣所	0536-83-2486	津具字下川原6-1
設楽警察署	0536-62-0110	田口字小貝津6-2
新城設楽建設事務所設楽支所	0536-62-1311	田口字川原田6-18

家族・知人の安否確認

災害用伝言ダイヤル **忘れてイナイ(171)? 災害伝言171などと覚えてください。**

録音 伝言の録音方法 [171] ▶ [1] ▶ 連絡を取りたい被災地の方の電話番号を市外局番からダイヤル ▶ 伝言を入れる

再生 伝言の再生方法 [171] ▶ [2] ▶ 連絡を取りたい被災地の方の電話番号を市外局番からダイヤル ▶ 伝言を聞く

※サービス起動時は、TV、ラジオ、NTTのホームページを通じてお知らせされます。

災害用伝言板サービス 携帯電話のトップメニューから「災害用伝言板」を開き、伝言の登録・確認を行います。

防災情報の取得先

- 気象庁の災害情報 <http://www.jma.go.jp/jma/menu/menuflash.html>
- 愛知県土砂災害防災情報 <http://www.sabo.pref.aichi.jp/>
- 緊急速報メールサービス* <https://www.pref.aichi.jp/soshiki/sabo/0000075601.html>

※土砂災害警戒情報が発表されたとき、設楽町内の携帯電話(対象機種のみ)に対し、メールが一斉配信されます。



設楽町 総務課

〒441-2301 愛知県北設楽郡設楽町田口字辻前14番地

TEL 0536-62-0511

令和8年3月作成

保存版

設楽町 防災 ガイドブック



このハザードマップは、身近な地域の災害リスクについて理解を深め、実際の災害をイメージしながら、ご自身に適した避難行動や避難するタイミングについて考えていただくために作成しました。

いざという時のために、日頃からご家族やご近所、自主防災会の方々と身の回りの危険箇所や避難所・避難場所、避難経路などについて話し合っておきましょう。

目次

- 洪水浸水想定区域(想定最大規模)について — 1
- 土砂災害について — 2
- 防災マップ(索引図) — 3
- 防災マップ(名倉地域) — 4~12
- 防災マップ(田口地域) — 13~24
- 防災マップ(清嶺地域) — 25~36
- 防災マップ(津具地域) — 37~46
- 大雨通行規制路線図 — 47~48
- 設楽町避難所一覧 — 49~50
- 避難について — 51~52
- 地域の防災 — 53
- 防災情報の入手方法 — 54
- 防災気象情報について — 55~56
- 地震について — 57
- 設楽町防災アプリでできること — 58

防災ガイドブックの活用

土砂災害のおそれがある場所(土砂災害警戒区域、土砂災害発生箇所)等を掲載しています。

- 1 自分の家の位置を確認しましょう。**
 - ・防災マップで自宅の位置を確認し、印をつけましょう。
 - ・自分の家や周辺にどのような土砂災害の危険があるか知っておきましょう。
- 2 避難場所等を確認しましょう。**
 - ・防災マップで自分の家から近い避難場所等を確認しておきましょう。
 - ・万一途中で家族が離ればなれになった時のために、事前に集合場所を決めておきましょう。
- 3 避難場所等までの道のりを確認しましょう。**
 - ・実際に避難場所等まで歩いてみて、安全な避難ルートを確認しておきましょう。
 - ・ルート沿いの危険箇所を調べておきましょう。
 - ・できれば、自主防災組織で情報を出し合いながら、避難ルートを考えましょう。
- 4 安全・確実に避難する方法を理解しておきましょう。**
 - ・避難の心得(P51参照)をよく理解して、いざという時に安全に避難できるようにしましょう。
 - ・防災情報の入手方法(P54参照)を確認しておきましょう。
 - ・防災気象情報について(P55~56参照)を確認しておきましょう。

洪水浸水想定区域（想定最大規模）について

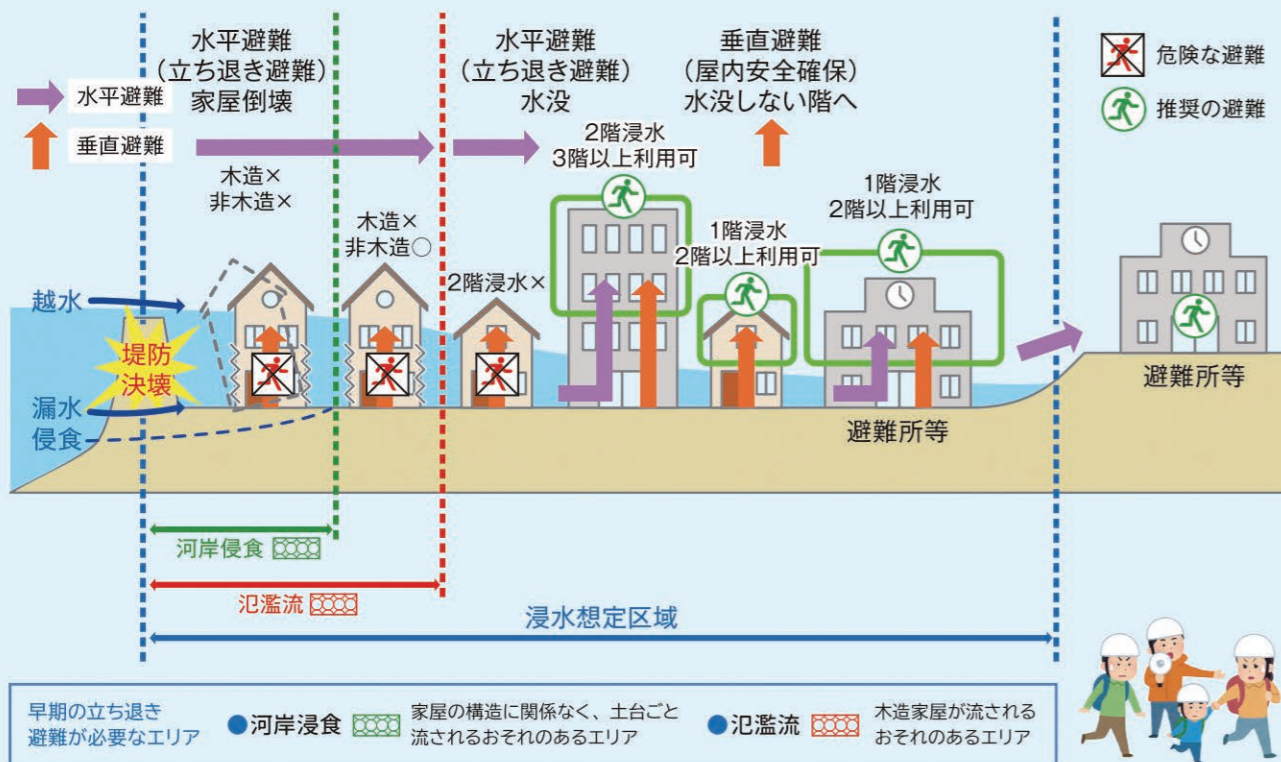
洪水浸水想定区域は、愛知県が水防法の第14条に基づき洪水時の円滑かつ迅速な避難の確保を図るため、想定し得る最大規模の降雨により河川が氾濫した場合に浸水が想定される区域を指定するものであり、浸水した場合に想定される水深等と併せ、洪水浸水想定区域図として公表します。

河川名 指定年月日 指定の前提となる降雨

天竜川水系 大入川	令和6年11月12日	24時間総雨量 709mm
天竜川水系 大千瀬川流域 御殿川	令和6年11月12日	24時間総雨量 836mm
豊川水系 豊川上流支川	令和6年11月12日	24時間総雨量 604mm
矢作川水系 矢作川上流支川 名倉川	令和6年11月12日	24時間総雨量 749mm

家屋倒壊等氾濫想定区域（河岸侵食・氾濫流）

家屋倒壊等氾濫想定区域とは、堤防が決壊することで発生する激しい流れにより、家屋などが流されるおそれのあるエリアです。



● 次の3つが確認できれば浸水の危険があっても安全を確保することも可能です。

1 家屋倒壊等氾濫想定区域に入っていない（入っていると…）



流速が速いため、木造家屋は倒壊するおそれがあります

地面が削られ家屋は建物ごと崩落するおそれがあります

2 浸水深より居室は高い

3~4階	5m~10m未満 (3階床上~4階軒下浸水)
2階	3m~5m未満 (2階床上~軒下浸水)
1階	0.5m~3m未満 (1階床上~軒下浸水)
1階床下	0.5m未満 (1階床下浸水)

3 水がひくまで我慢でき、水・食料などの備えが十分（十分じゃないと…）

水、食料、薬等の確保が困難になるほか、電気、ガス、水道、トイレ等の使用ができなくなるおそれがあります



土砂災害について

土砂災害の種類と前ぶれ

土砂災害の種類には「がけ崩れ」、「土石流」、「地すべり」があります。土砂災害の前ぶれに注意し、危険を感じた場合には速やかに避難できるよう普段から特徴を確認しておきましょう。

がけ崩れ



「がけ崩れ」（急傾斜地の崩壊）は、地震や雨の影響によって土の抵抗力が弱まり、急激に斜面が崩れ落ちることをいいます。突然崩れ落ちるため、逃げ遅れる人が多く、大切な人命が失われたり、家が壊されたりします。

前ぶれ

- ・がけに割れ目が見える
- ・がけから水が湧き出している
- ・がけから小石がパラパラと落ちてくる
- ・がけから木の根が切れる等の音がする

土石流

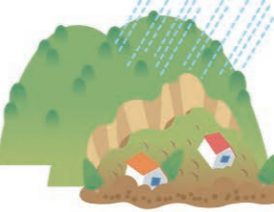


山腹や川底の石や土砂が、長雨や集中豪雨などの大量の水と一緒に津波のように襲ってくるものを「土石流」といいます。その速さは時速20~40kmにもなり、あっという間に家や田畑を潰し、押し流してしまいます。

前ぶれ

- ・山鳴りがする
- ・雨が降り続けているのに川の水位が下がる（土砂により上流で流れがせき止められている）
- ・川が濁ったり、流木が流れる

地すべり



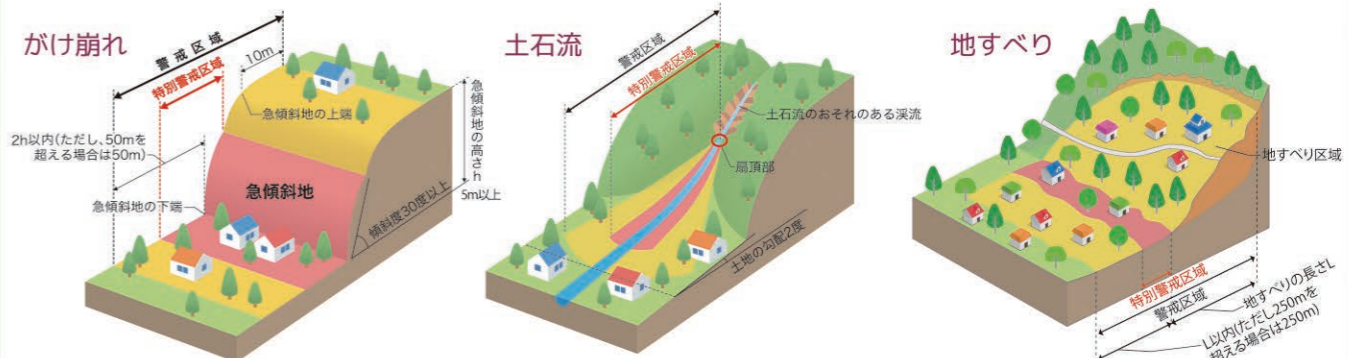
地下水が粘土のような滑りやすい層に染み込んで、そこから上の地面が動き出すのが「地すべり」です。一般的に広い範囲にわたって発生し、動く土の量も多いため、大きな被害の恐れがあります。

前ぶれ

- ・沢や井戸の水が濁る
- ・地面にひび割れができる
- ・斜面から水が湧き出す
- ・家や擁壁に亀裂が入る

土砂災害警戒区域、土砂災害特別警戒区域について

「土砂災害防止法」は、土砂災害から生命を守るため、土砂災害のおそれのある区域を明らかにし、危険の周知、警戒避難体制の整備、住宅等の新規立地の抑制、既存住宅の移転促進等のソフト対策を推進するものです。この法律に基づき、「土砂災害警戒区域」と「土砂災害特別警戒区域」が指定されています。



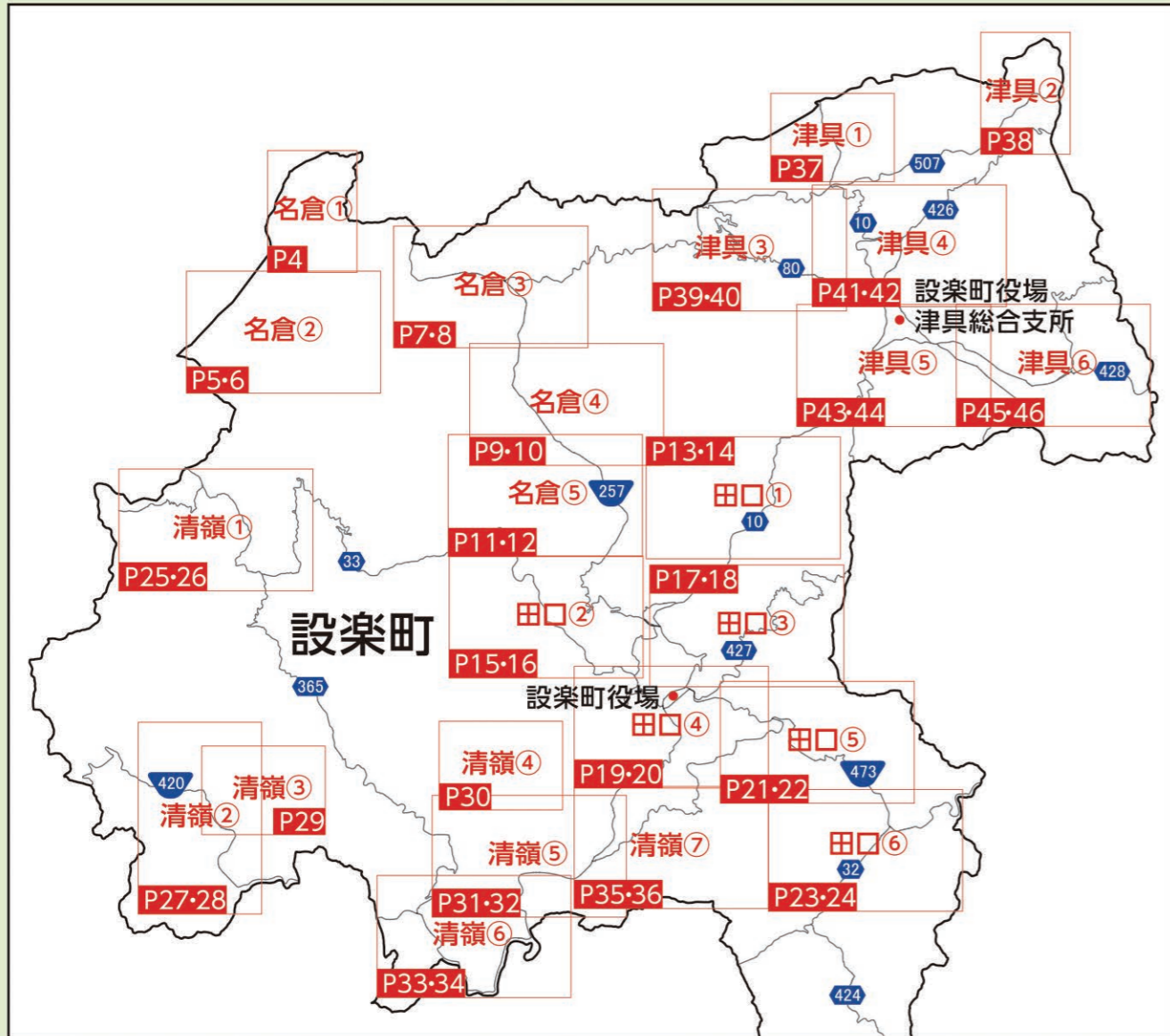
土砂災害警戒区域（通称：イエローゾーン）

- ・急傾斜地（傾斜度30度以上で高さ5m以上の急傾斜地で人家等がある場所）
- ・急傾斜地の上端から水平距離が10m以内の区域
- ・急傾斜地の下端から急傾斜地の高さの2倍以内（50mを超える場合は50m）の区域
- ・土石流の発生のおそれのある渓流において扇頂部から下流で勾配が2度以上の区域
- ・地すべり区域・地すべり区域下端から、地すべり地塊の長さに対応する距離（250mを超える場合は250m）の範囲内の区域

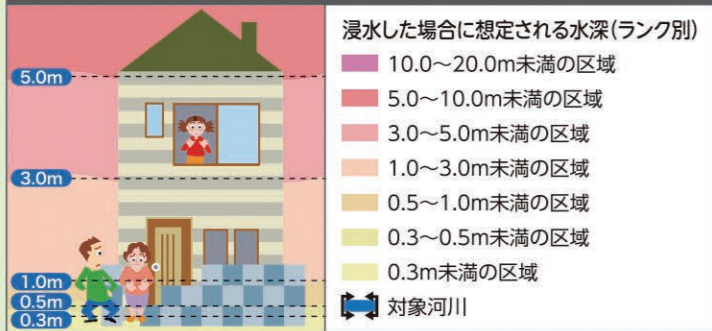
土砂災害特別警戒区域（通称：レッドゾーン）

- ・急傾斜地の崩壊や土石流に伴う土石により、建築物に大きな損壊が生じ、生命に危害が生ずるおそれのある区域
- ・建築物に対する規制があります

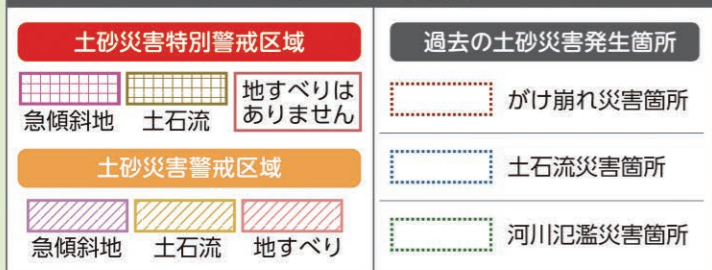
防災マップ (索引図)



洪水浸水想定区域図 凡例



土砂災害 凡例

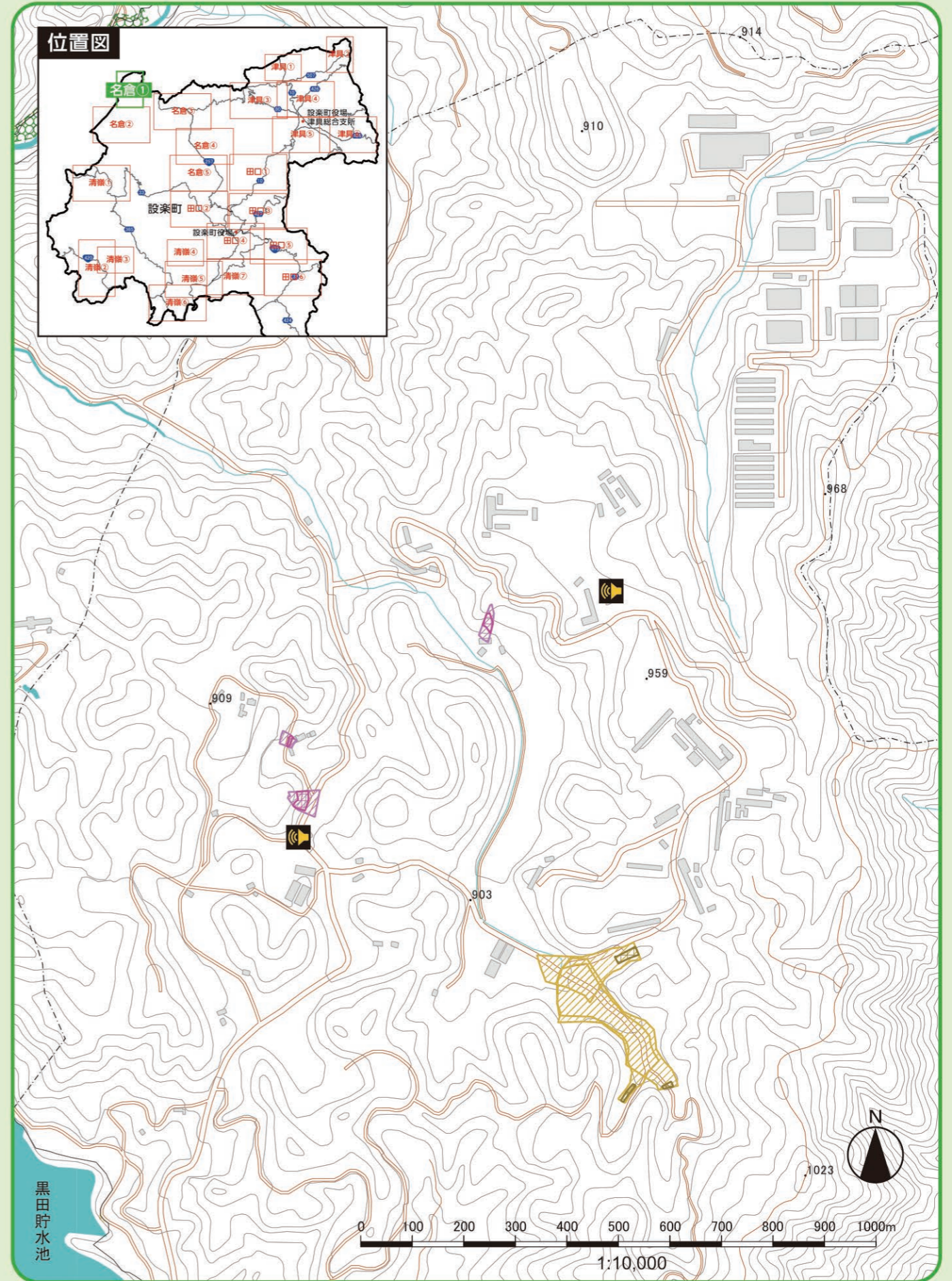


マップ 凡例

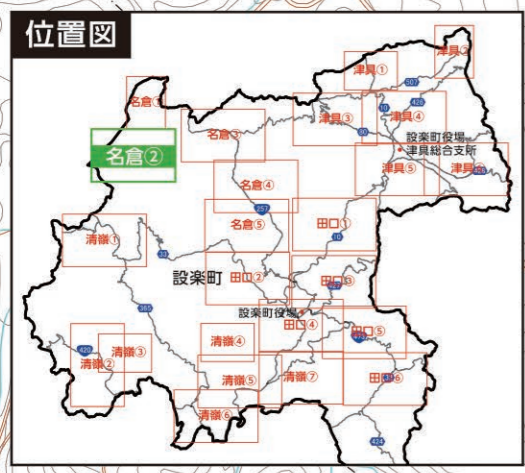
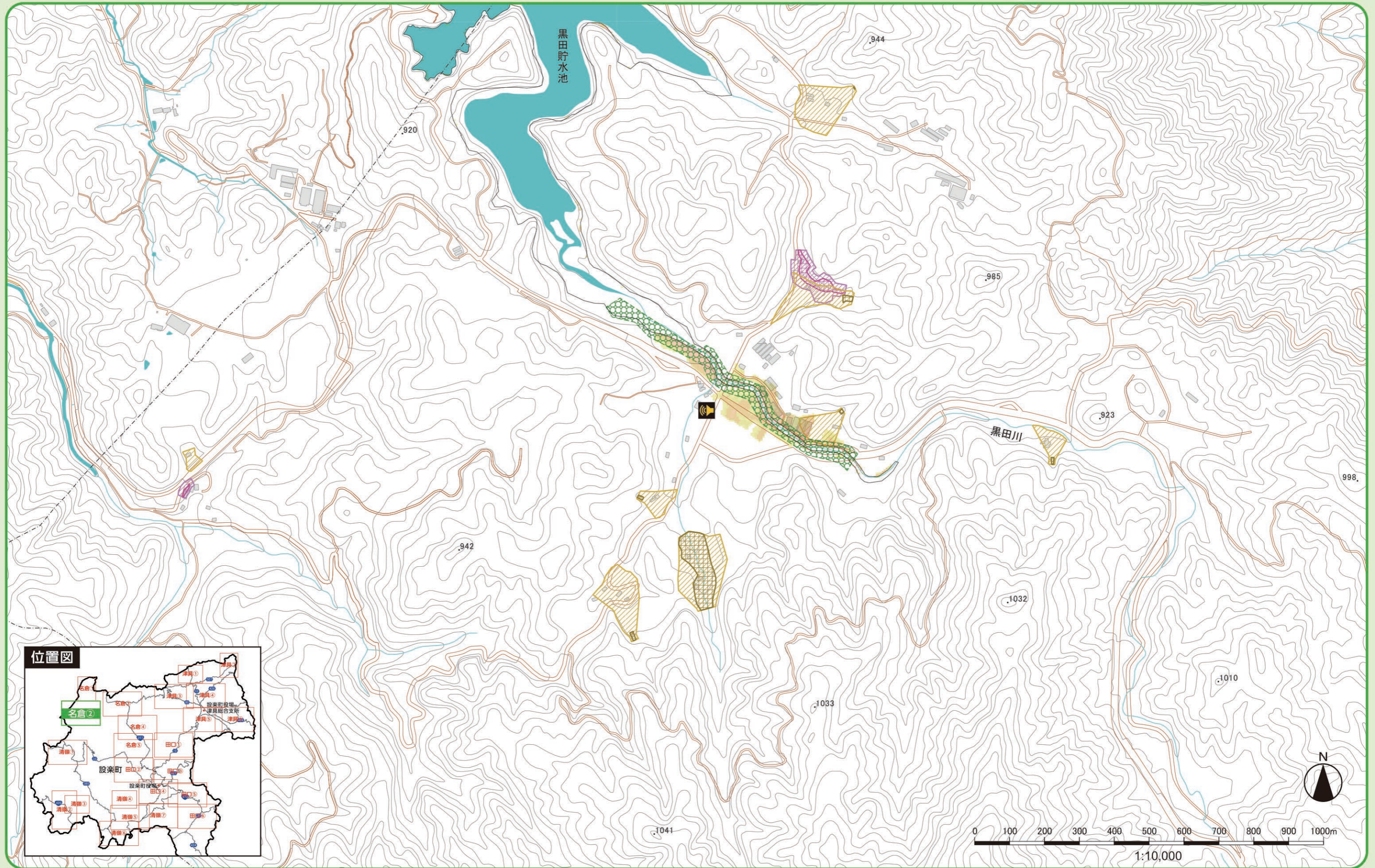
国道・県道等	郵便局
緊急輸送道路	医療機関
市町村界	学校
河川等	保育園
地区一時避難場所	AED
指定避難所	ヘリポート
福祉避難所	屋外子局
消防署	役場
警察署 駐在所	

この防災ガイドブックの地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。
 「測量法に基づく国土地理院長承認 (使用) R 7JHs 470」

名倉地域 ①

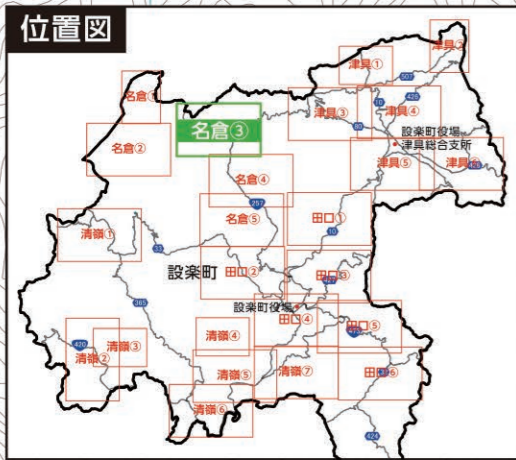
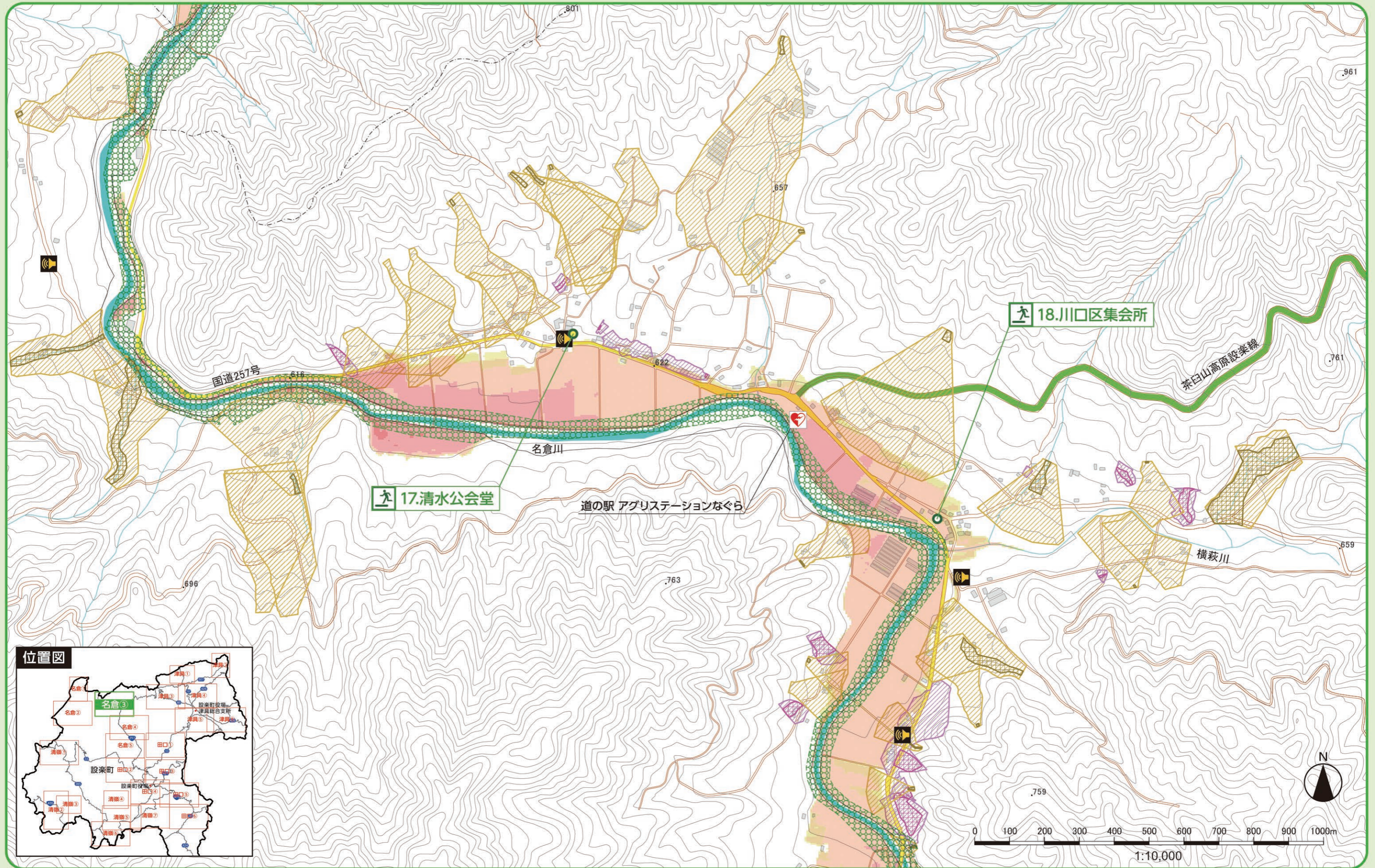


名倉地域②



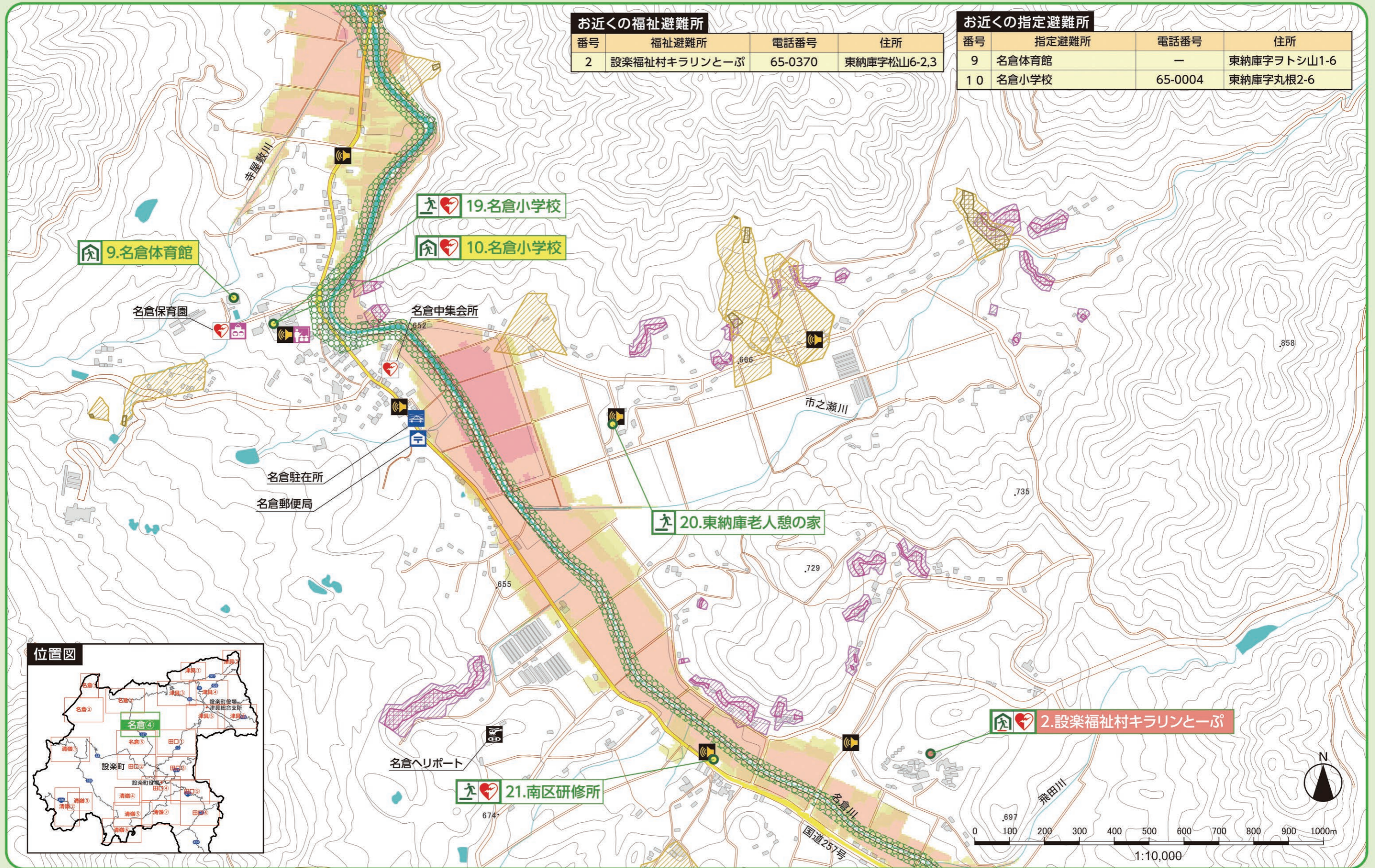
洪水災害 洪水浸水想定区域図 10.0~20.0m未満 5.0~10.0m未満 3.0~5.0m未満 1.0~3.0m未満 0.5~1.0m未満 0.3~0.5m未満 0.3m未満 対象河川	土砂災害 土砂災害特別警戒区域 急傾斜地 土石流 地すべりはありません	土砂災害警戒区域 急傾斜地 土石流 地すべり	過去の土砂災害発生箇所 がけ崩れ災害箇所 土石流災害箇所 河川氾濫災害箇所	凡例 国道・県道等 市町村界 緊急輸送道路 河川等	地区一時避難場所 指定避難所 福祉避難所	消防署 警察署駐在所 郵便局	医療機関 学校 保育園	AED ヘリポート 屋外子局	役場
					家屋倒壊等氾濫想定区域 河岸侵食 氾濫流				

名倉地域 ③



洪水災害 洪水浸水想定区域図 10.0~20.0m未満 5.0~10.0m未満 3.0~5.0m未満 1.0~3.0m未満 0.5~1.0m未満 0.3~0.5m未満 0.3m未満 対象河川	家屋倒壊等 氾濫想定区域 河岸侵食 氾濫流	土砂災害 土砂災害特別警戒区域 急傾斜地 土石流 地すべりはありません	土砂災害警戒区域 急傾斜地 土石流 地すべり	過去の土砂災害発生箇所 がけ崩れ災害箇所 土石流災害箇所 河川氾濫災害箇所	凡例 国道・県道等 緊急輸送道路 市町村界 河川等	地区一時避難場所 指定避難所 福祉避難所	消防署 警察署駐在所 郵便局	医療機関 学校 保育園	AED ヘリポート 屋外子局	役場

名倉地域④

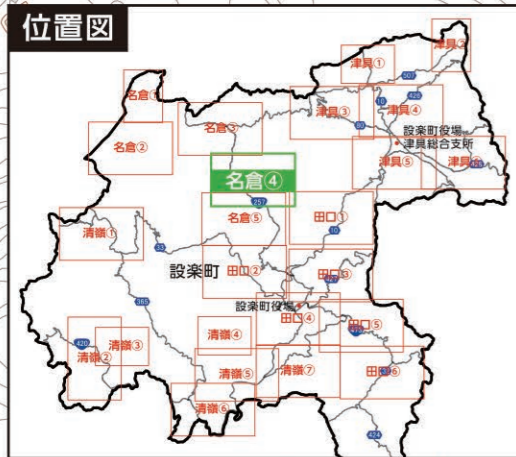


お近くの福祉避難所

番号	福祉避難所	電話番号	住所
2	設楽福祉村キラリンとーぷ	65-0370	東納庫字松山6-2,3

お近くの指定避難所

番号	指定避難所	電話番号	住所
9	名倉体育館	—	東納庫字ヲトシ山1-6
10	名倉小学校	65-0004	東納庫字丸根2-6



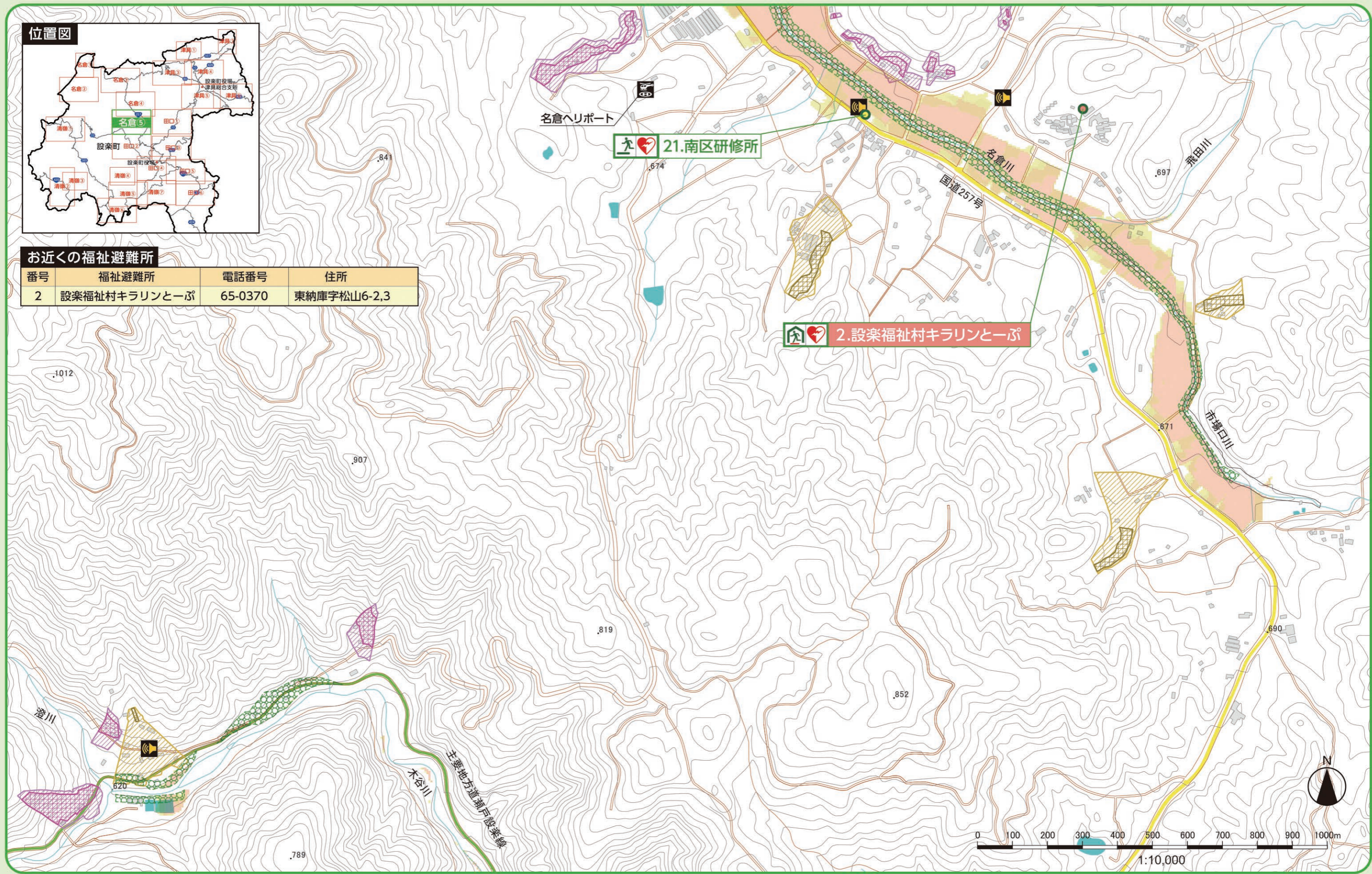
洪水災害 洪水浸水想定区域図 10.0~20.0m未満 5.0~10.0m未満 3.0~5.0m未満 1.0~3.0m未満 対象河川	家屋倒壊等 氾濫想定区域 0.5~1.0m未満 0.3~0.5m未満 0.3m未満 氾濫流 氾濫流	土砂災害 土砂災害特別警戒区域 急傾斜地 土石流 地すべりはありません	土砂災害警戒区域 急傾斜地 土石流 地すべり	過去の土砂災害発生箇所 がけ崩れ災害箇所 土石流災害箇所 河川氾濫災害箇所	凡例 国道・県道等 緊急輸送道路 市町村界 河川等	地区一時避難場所 指定避難所 福祉避難所	消防署 警察署駐在所 郵便局	医療機関 学校 保育園	AED ヘリポート 屋外子局	役場

名倉地域⑤



お近くの福祉避難所

番号	福祉避難所	電話番号	住所
2	設楽福祉村キラリンとーぷ	65-0370	東納庫字松山6-2,3



洪水災害

洪水浸水想定区域図

10.0~20.0m未満	0.5~1.0m未満
5.0~10.0m未満	0.3~0.5m未満
3.0~5.0m未満	0.3m未満
1.0~3.0m未満	対象河川

**家屋倒壊等
氾濫想定区域**

- 河岸侵食
- 氾濫流

土砂災害

**土砂災害
特別警戒区域**

- 急傾斜地
- 土石流
- 地すべりはありません

**土砂災害
警戒区域**

- 急傾斜地
- 土石流
- 地すべり

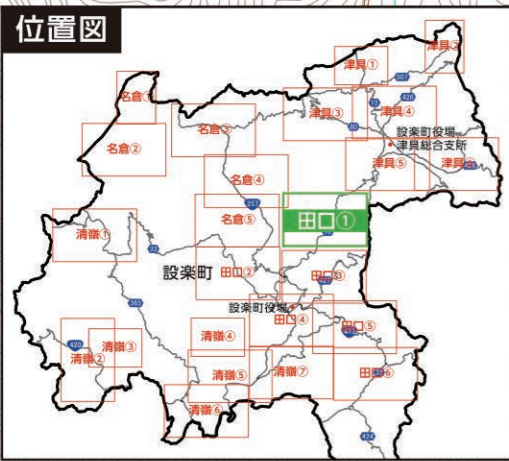
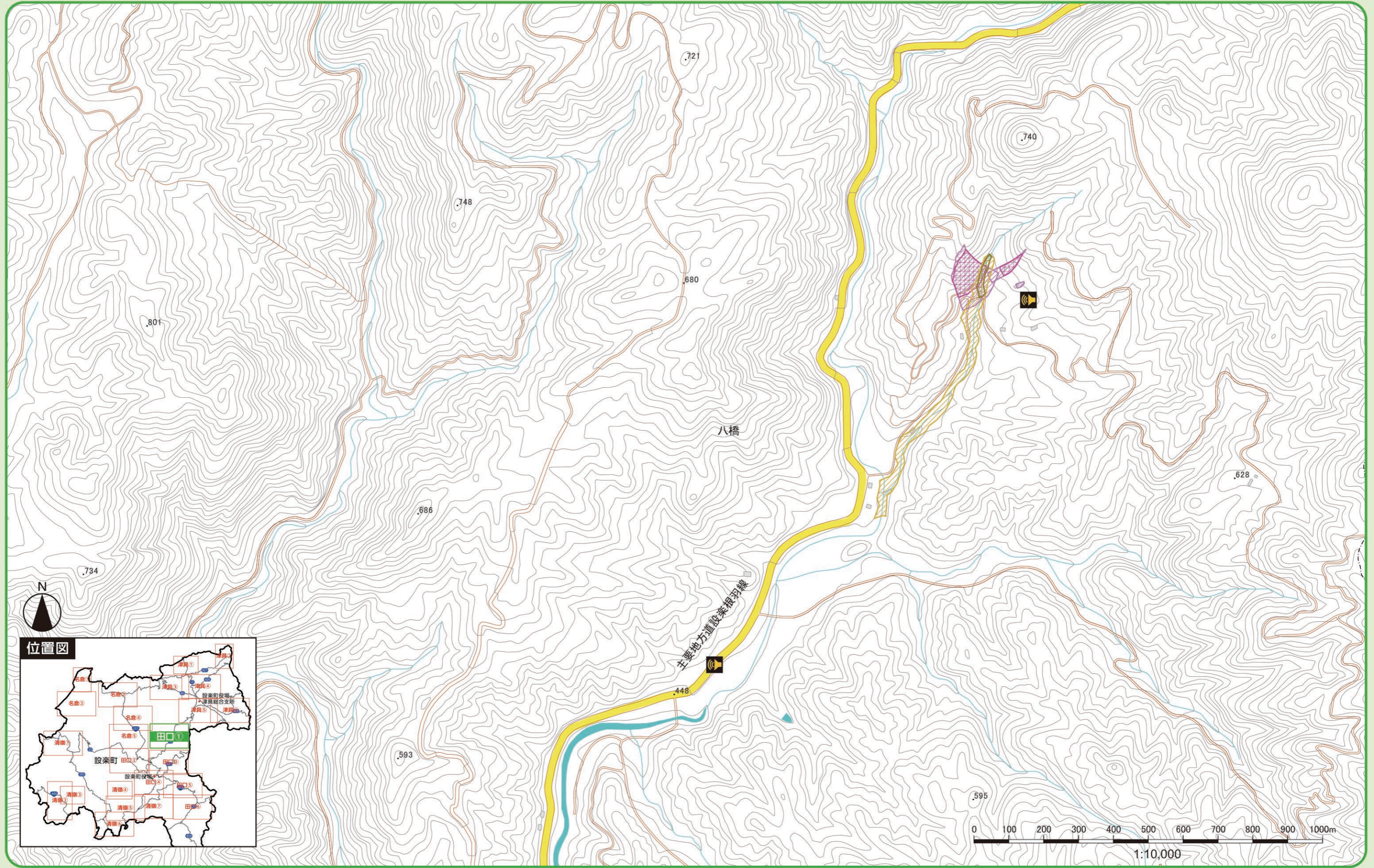
**過去の土砂災害
発生箇所**

- がけ崩れ災害箇所
- 土石流災害箇所
- 河川氾濫災害箇所

凡例

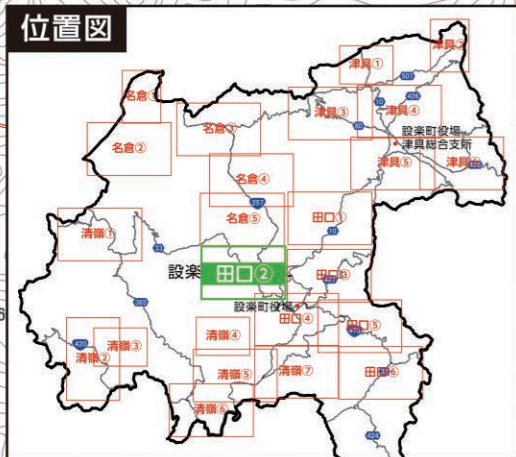
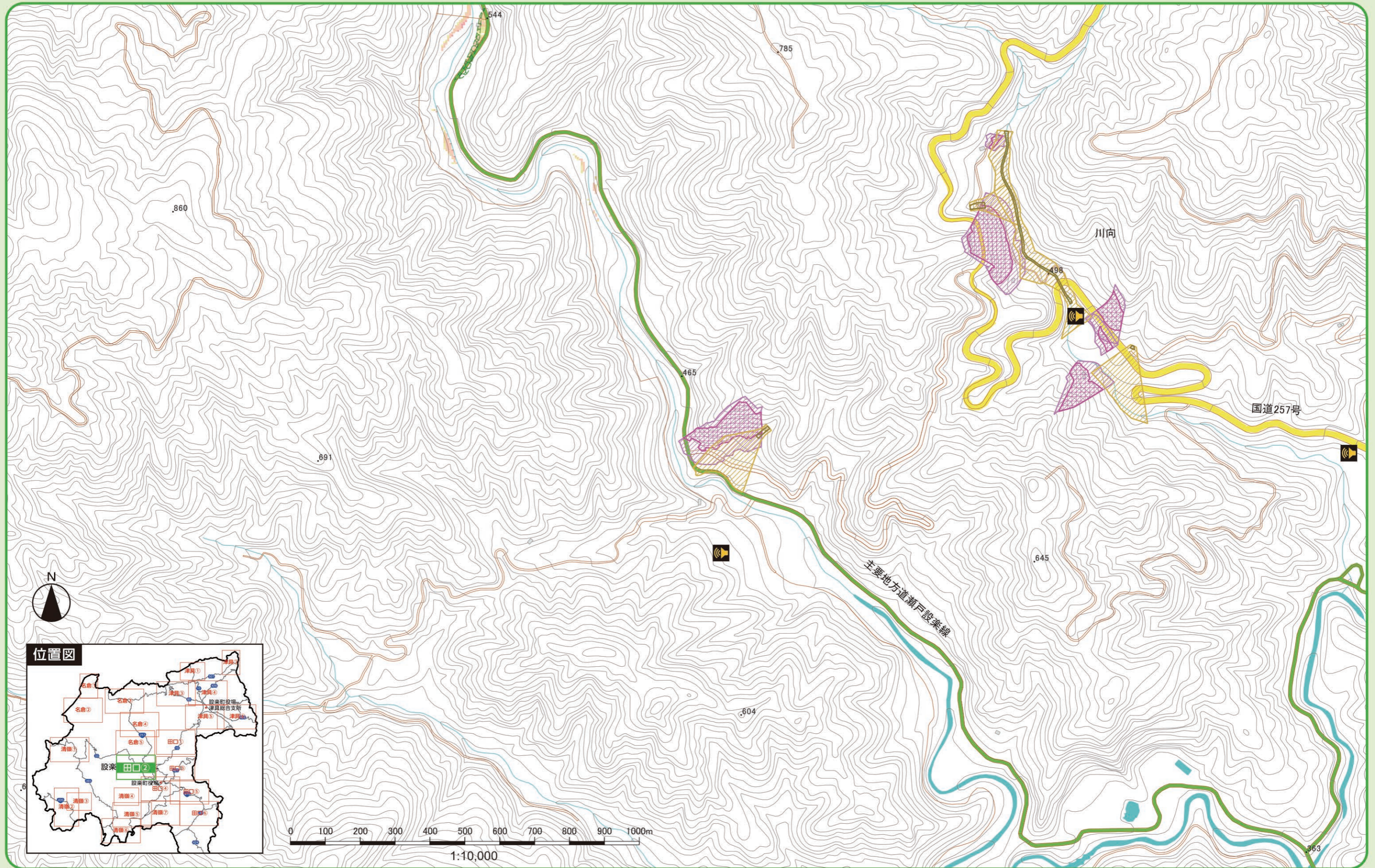
国道・県道等	市町村界	地区一時避難場所	消防署	医療機関	AED	役場
緊急輸送道路	河川等	指定避難所	警察署駐在所	学校	ヘリポート	
		福祉避難所	郵便局	保育園	屋外子局	

田口地域①



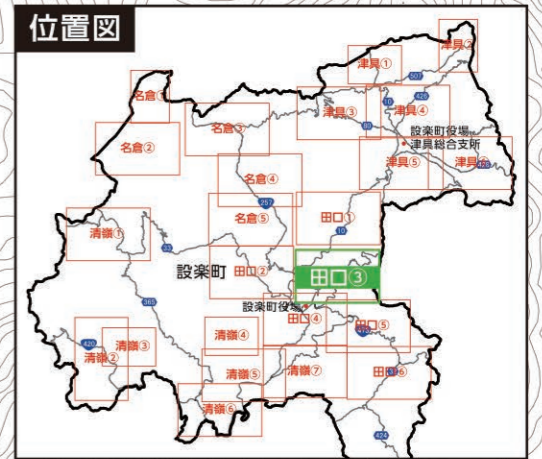
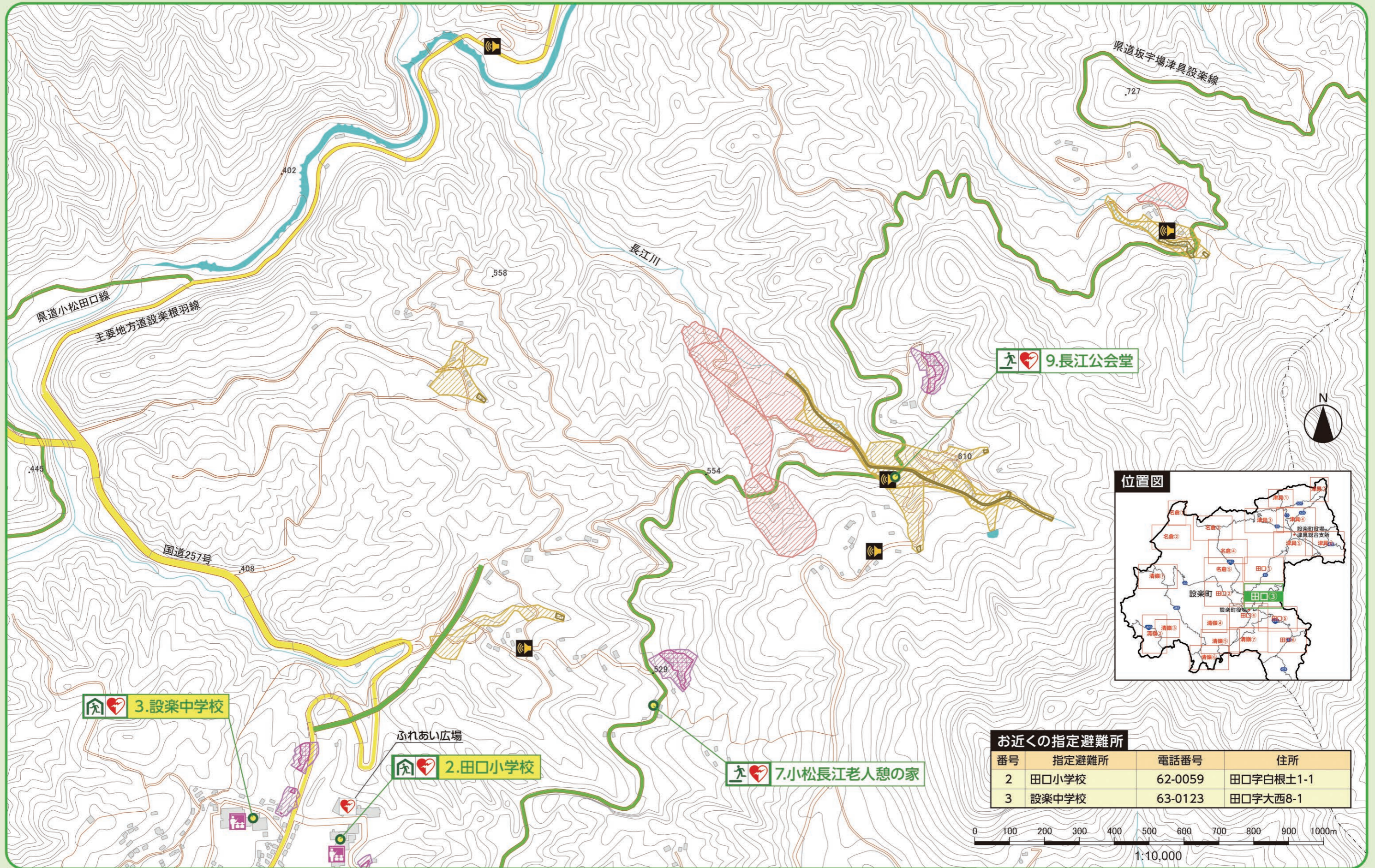
洪水災害 洪水浸水想定区域図 10.0~20.0m未満 5.0~10.0m未満 3.0~5.0m未満 1.0~3.0m未満 0.5~1.0m未満 0.3~0.5m未満 0.3m未満 対象河川	家屋倒壊等 氾濫想定区域 河岸侵食 氾濫流	土砂災害 土砂災害特別警戒区域 急傾斜地 土石流 地すべりはありません	土砂災害警戒区域 急傾斜地 土石流 地すべり	過去の土砂災害発生箇所 がけ崩れ災害箇所 土石流災害箇所 河川氾濫災害箇所	凡例 国道・県道等 市町村界 緊急輸送道路 河川等	地区一時避難場所 指定避難所 福祉避難所	消防署 警察署駐在所 郵便局	医療機関 学校 保育園	AED ヘリポート 屋外子局	役場

田口地域②



洪水災害	洪水浸水想定区域図		家屋倒壊等 氾濫想定区域		土砂災害	土砂災害 特別警戒区域		土砂災害 警戒区域		過去の土砂災害 発生箇所		凡例 マップ	地区一時避難場所		消防署		医療機関		AED		役場	
	10.0~20.0m未満	0.5~1.0m未満	河岸侵食	急傾斜地		急傾斜地	がけ崩れ災害箇所	指定避難所	消防署	医療機関	AED		役場	緊急輸送道路	警察署駐在所	学校	警察署駐在所	学校	ヘリポート	保育園	ヘリポート	屋外子局
	5.0~10.0m未満	0.3~0.5m未満	氾濫流	土石流	土石流	土石流災害箇所	福祉避難所	河川等	郵便局	保育園	屋外子局											
	3.0~5.0m未満	0.3m未満		地すべりはありません	地すべり	河川氾濫災害箇所																
	1.0~3.0m未満	対象河川																				

田口地域 ③



お近くの指定避難所

番号	指定避難所	電話番号	住所
2	田口小学校	62-0059	田口字白根土1-1
3	設楽中学校	63-0123	田口字大西8-1

洪水災害

洪水浸水想定区域図

- 10.0~20.0m未満
- 5.0~10.0m未満
- 3.0~5.0m未満
- 1.0~3.0m未満
- 0.5~1.0m未満
- 0.3~0.5m未満
- 0.3m未満

家屋倒壊等氾濫想定区域

- 河岸侵食
- 氾濫流

対象河川

土砂災害

土砂災害特別警戒区域

- 急傾斜地
- 土石流
- 地すべりはありません

土砂災害警戒区域

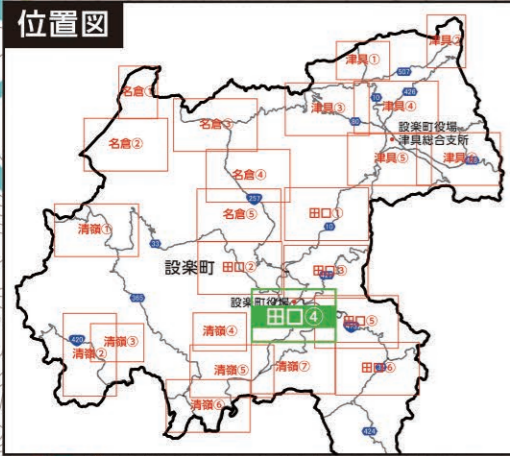
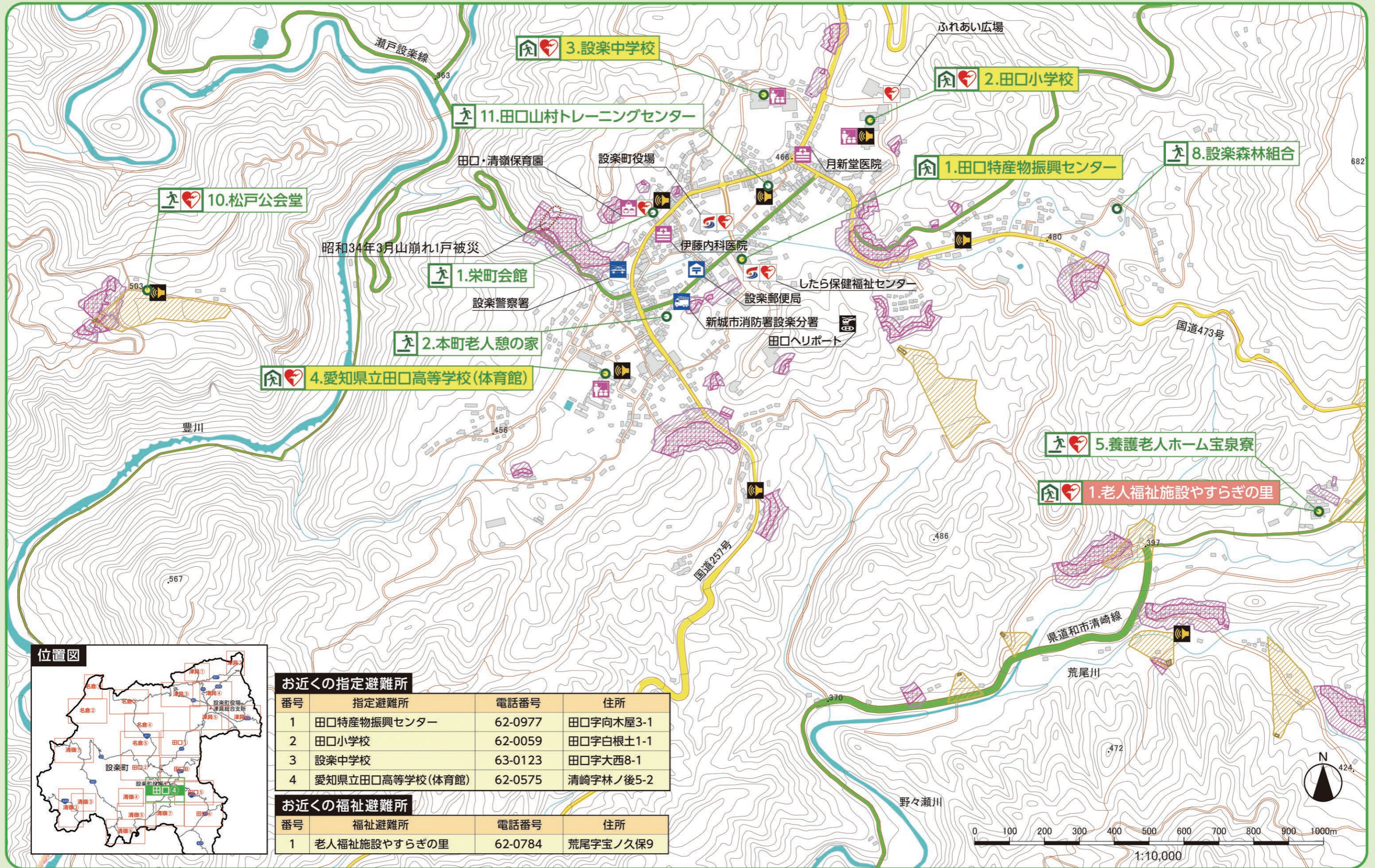
- 急傾斜地
- 土石流
- 地すべり

過去の土砂災害発生箇所

- がけ崩れ災害箇所
- 土石流災害箇所
- 河川氾濫災害箇所

凡例

- 国道・県道等
- 市町村界
- 緊急輸送道路
- 河川等
- 地区一時避難場所
- 指定避難所
- 福祉避難所
- 消防署
- 警察署駐在所
- 郵便局
- 医療機関
- 学校
- 保育園
- AED
- ヘリポート
- 屋外子局
- 役場



お近くの指定避難所			
番号	指定避難所	電話番号	住所
1	田口特産物振興センター	62-0977	田口字向木屋3-1
2	田口小学校	62-0059	田口字白根土1-1
3	設楽中学校	63-0123	田口字大西8-1
4	愛知県立田口高等学校(体育館)	62-0575	清崎字林ノ後5-2

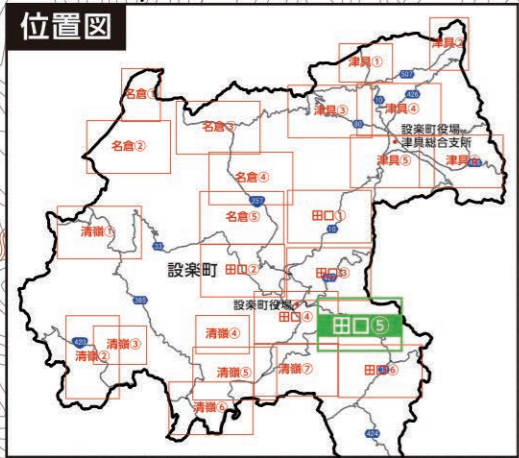
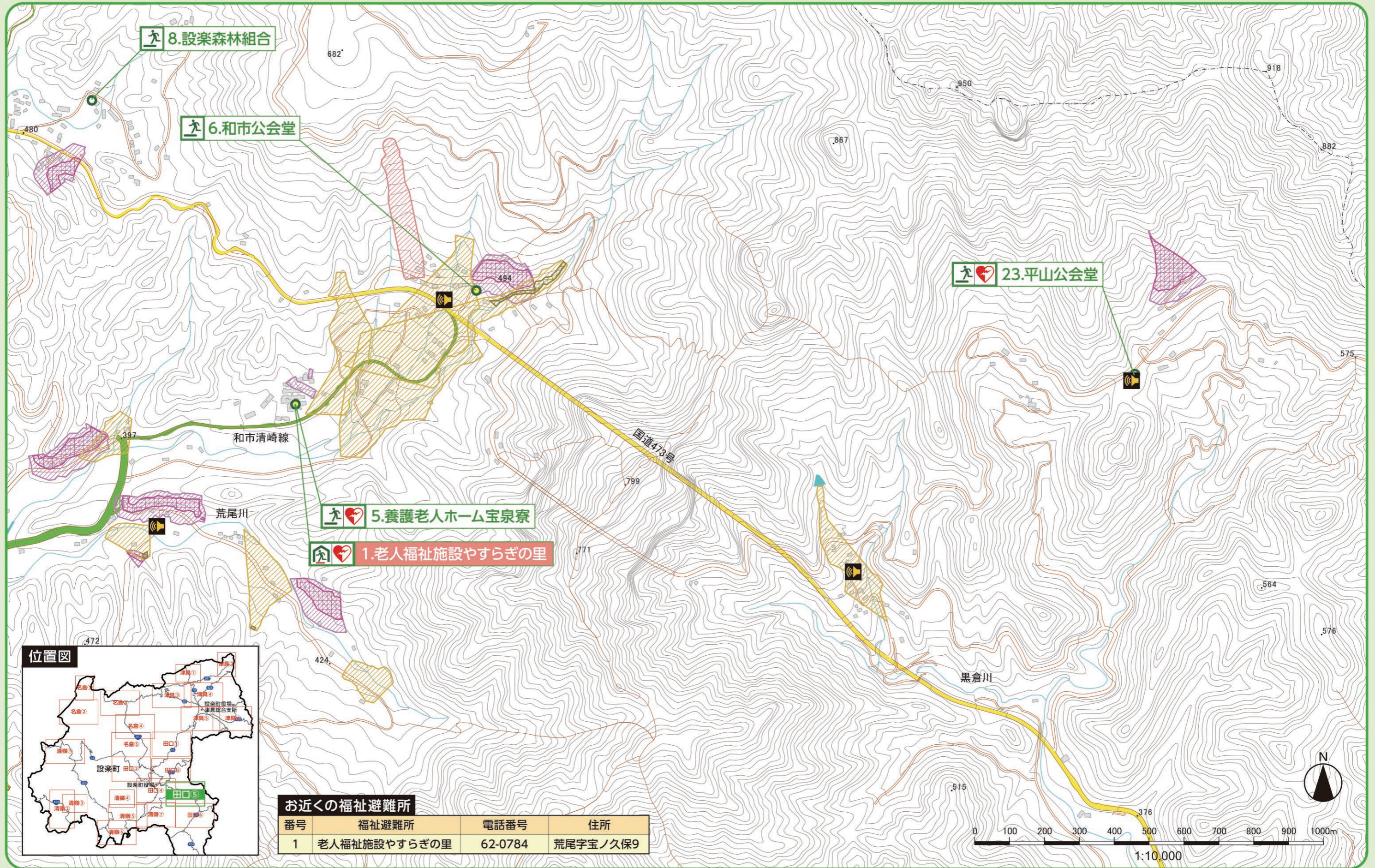
お近くの福祉避難所			
番号	福祉避難所	電話番号	住所
1	老人福祉施設やすらぎの里	62-0784	荒尾字宝ノ久保9

洪水浸水想定区域図		家屋倒壊等 氾濫想定区域	
10.0~20.0m未満	0.5~1.0m未満	河岸侵食	氾濫流
5.0~10.0m未満	0.3~0.5m未満		
3.0~5.0m未満	0.3m未満		
1.0~3.0m未満	対象河川		

土砂災害		過去の土砂災害 発生箇所	
土砂災害 特別警戒区域	土砂災害 警戒区域	がけ崩れ災害箇所	土石流災害箇所
急傾斜地	急傾斜地	土石流災害箇所	河川氾濫災害箇所
土石流	土石流		
地すべりはありません	地すべり		

凡例		地図	
地区一時避難場所	指定避難所	国道・県道等	市町村界
福祉避難所	消防署	緊急輸送道路	河川等
警察署駐在所	医療機関		
郵便局	学校		
	保育園		
	AED		
	役場		
	ヘリポート		
	屋外子局		

田口地域⑤



お近くの福祉避難所

番号	福祉避難所	電話番号	住所
1	老人福祉施設やすらぎの里	62-0784	荒尾字宝ノ久保9

洪水災害

洪水浸水想定区域図

- 10.0~20.0m未満
- 5.0~10.0m未満
- 3.0~5.0m未満
- 1.0~3.0m未満
- 0.5~1.0m未満
- 0.3~0.5m未満
- 0.3m未満
- 対象河川

**家屋倒壊等
氾濫想定区域**

- 河岸侵食
- 氾濫流

土砂災害

**土砂災害
特別警戒区域**

- 急傾斜地
- 土石流
- 地すべりはありません

**土砂災害
警戒区域**

- 急傾斜地
- 土石流
- 地すべり

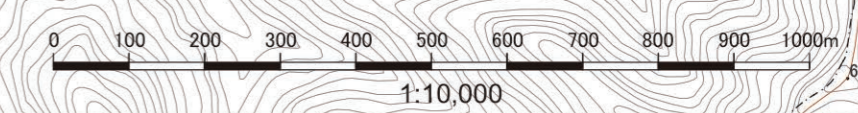
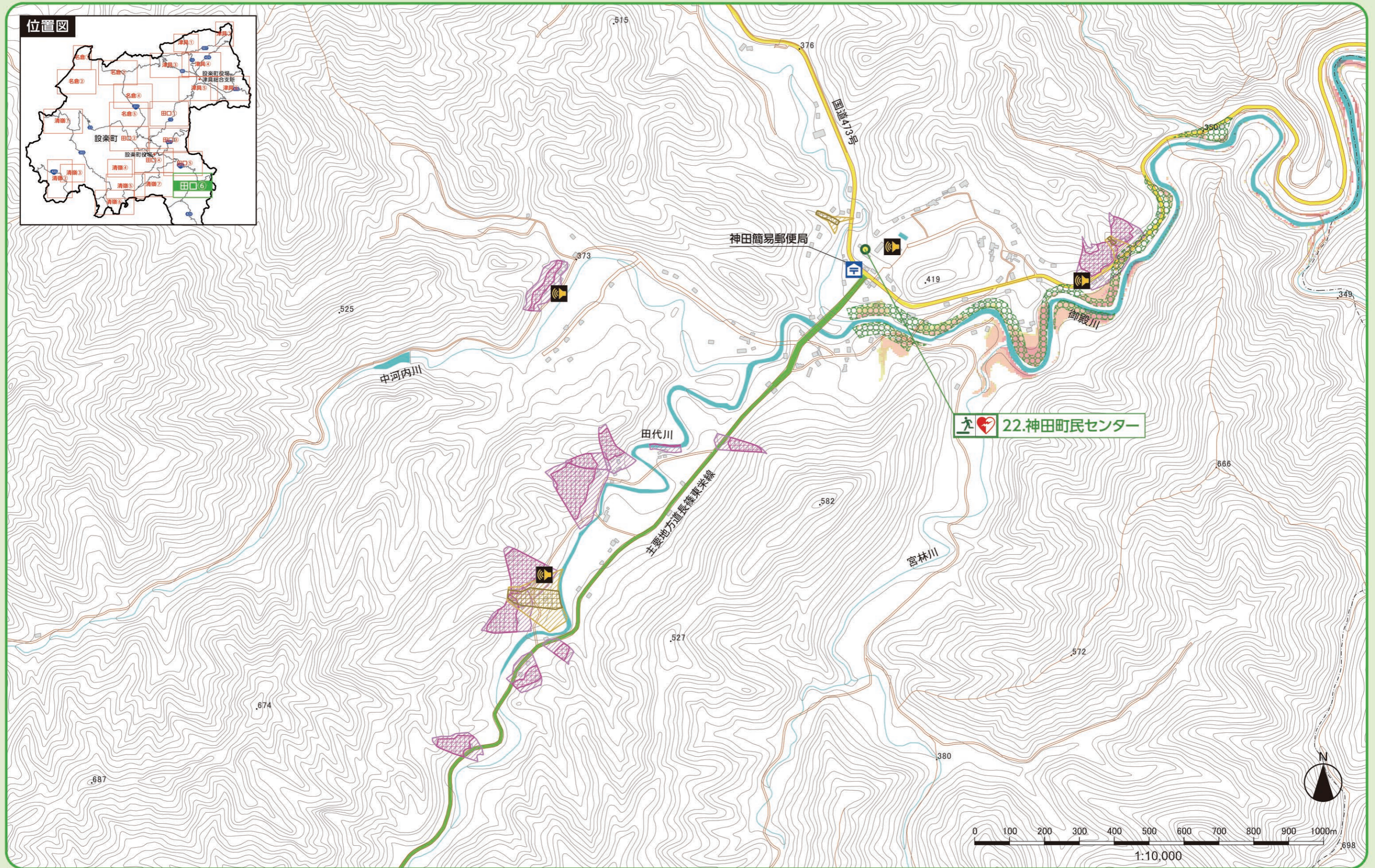
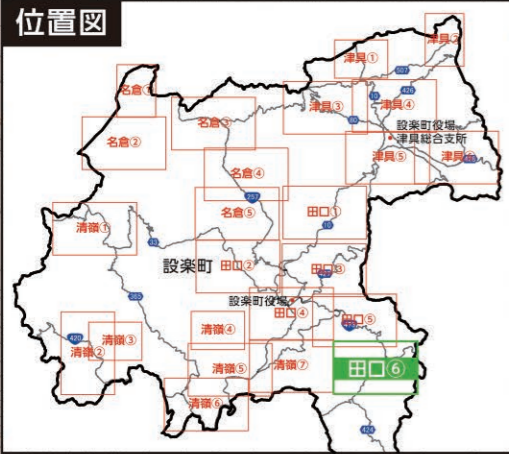
**過去の土砂災害
発生箇所**

- がけ崩れ災害箇所
- 土石流災害箇所
- 河川氾濫災害箇所

凡例

- 国道・県道等
- 市町村界
- 緊急輸送道路
- 河川等
- 地区一時避難場所
- 指定避難所
- 福祉避難所
- 消防署
- 警察署駐在所
- 郵便局
- 医療機関
- 学校
- 保育園
- AED
- ヘリポート
- 屋外子局
- 役場

田口地域 ⑥

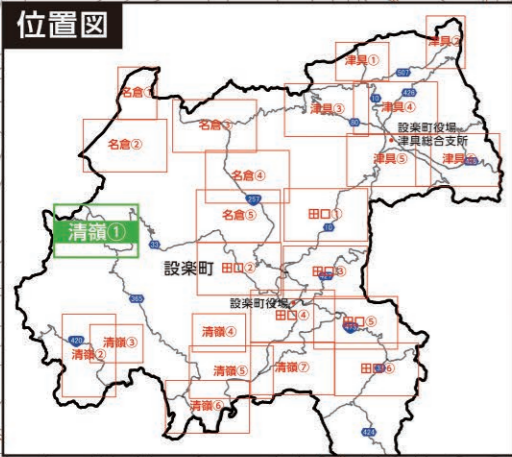
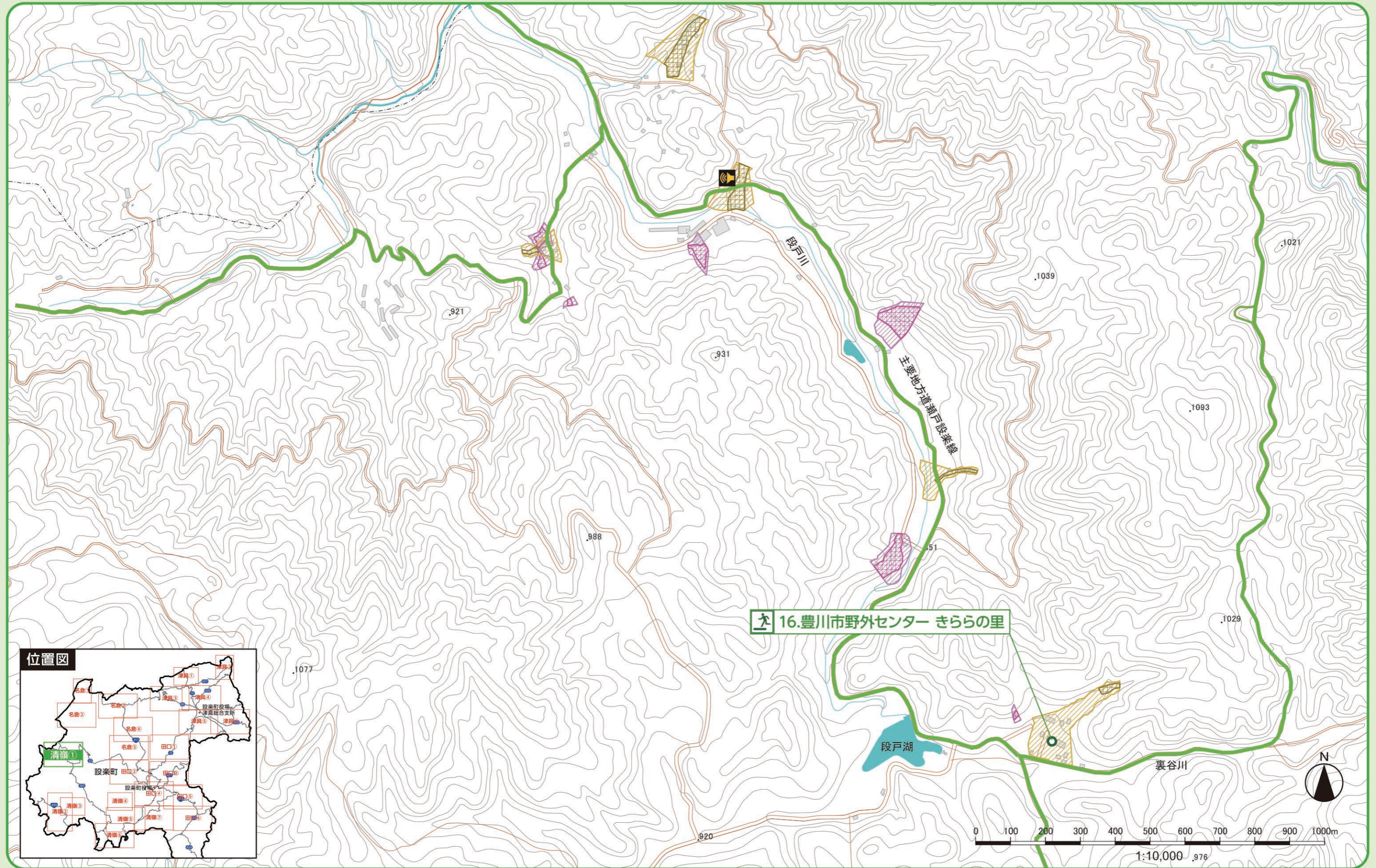


洪水浸水想定区域図		家屋倒壊等 氾濫想定区域
10.0~20.0m未満	0.5~1.0m未満	河岸侵食
5.0~10.0m未満	0.3~0.5m未満	氾濫流
3.0~5.0m未満	0.3m未満	
1.0~3.0m未満	対象河川	

土砂災害		過去の土砂災害 発生箇所
土砂災害 特別警戒区域	土砂災害 警戒区域	がけ崩れ災害箇所
急傾斜地	急傾斜地	土石流災害箇所
土石流	土石流	河川氾濫災害箇所
地すべりはありません	地すべり	

凡例		避難所		公共施設		その他	
国道・県道等	市町村界	地区一時避難場所	消防署	医療機関	AED	役場	
緊急輸送道路	河川等	指定避難所	警察署駐在所	学校	ヘリポート		
		福祉避難所	郵便局	保育園	屋外子局		

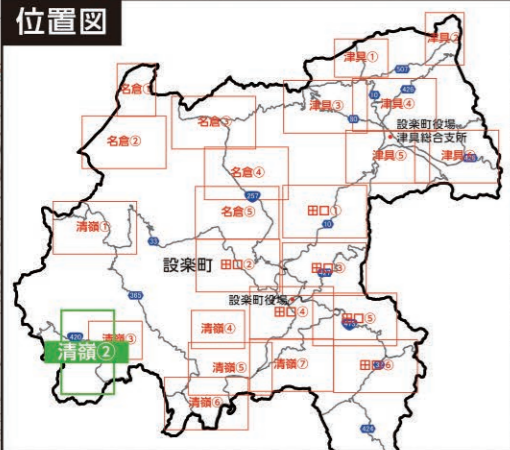
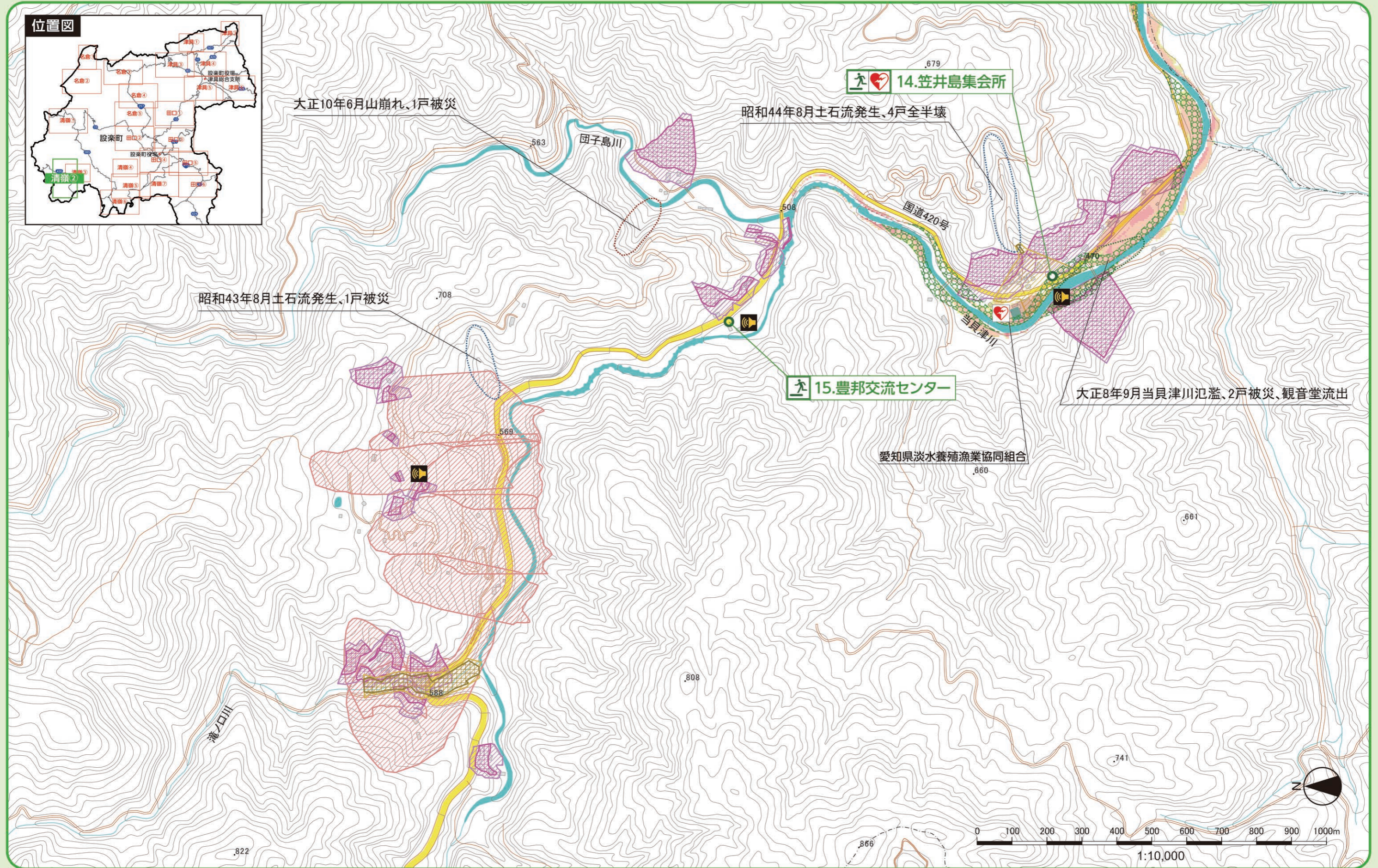
清嶺地域①



洪水浸水想定区域図		家屋倒壊等 氾濫想定区域	
10.0~20.0m未満	0.5~1.0m未満	河岸侵食	氾濫流
5.0~10.0m未満	0.3~0.5m未満		
3.0~5.0m未満	0.3m未満		
1.0~3.0m未満	対象河川		

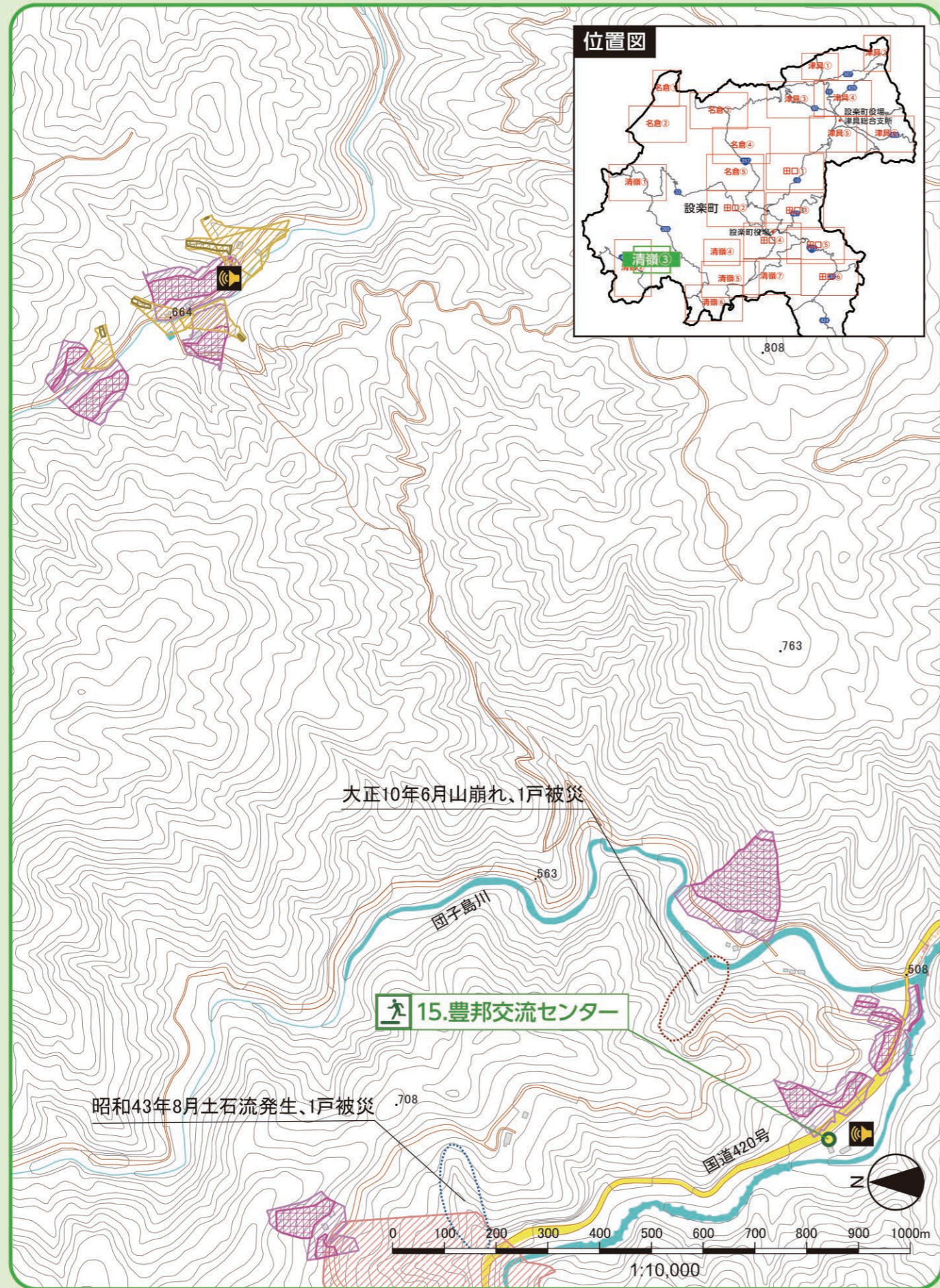
土砂災害		過去の土砂災害 発生箇所	
土砂災害 特別警戒区域	土砂災害 警戒区域	がけ崩れ災害箇所	土石流災害箇所
急傾斜地	急傾斜地	土石流災害箇所	河川氾濫災害箇所
土石流	土石流		
地すべりはありません	地すべり		

凡例		施設	
国道・県道等	市町村界	地区一時避難場所	消防署
緊急輸送道路	河川等	指定避難所	警察署駐在所
		福祉避難所	郵便局
		医療機関	学校
		保育園	役場
		AED	ヘリポート
		屋外子局	



洪水災害	洪水浸水想定区域図		家屋倒壊等氾濫想定区域		土砂災害	土砂災害特別警戒区域		土砂災害警戒区域		過去の土砂災害発生箇所		凡例	地図記号		施設		施設	
	10.0~20.0m未満	0.5~1.0m未満	河岸侵食	急傾斜地		急傾斜地	がけ崩れ災害箇所	消防署	医療機関	AED	役場		地区一時避難場所	消防署	医療機関	AED	役場	
	5.0~10.0m未満	0.3~0.5m未満	氾濫流	急傾斜地	急傾斜地	土石流災害箇所	警察署駐在所	学校	ヘリポート	指定避難所	警察署駐在所	学校	ヘリポート	指定避難所	警察署駐在所	学校	ヘリポート	指定避難所
	3.0~5.0m未満	0.3m未満		急傾斜地	急傾斜地	土砂災害発生箇所	郵便局	保育園	屋外子局	福祉避難所	郵便局	保育園	屋外子局	福祉避難所	郵便局	保育園	屋外子局	福祉避難所
	1.0~3.0m未満	対象河川		地すべりはありません	地すべり	河川氾濫災害箇所												

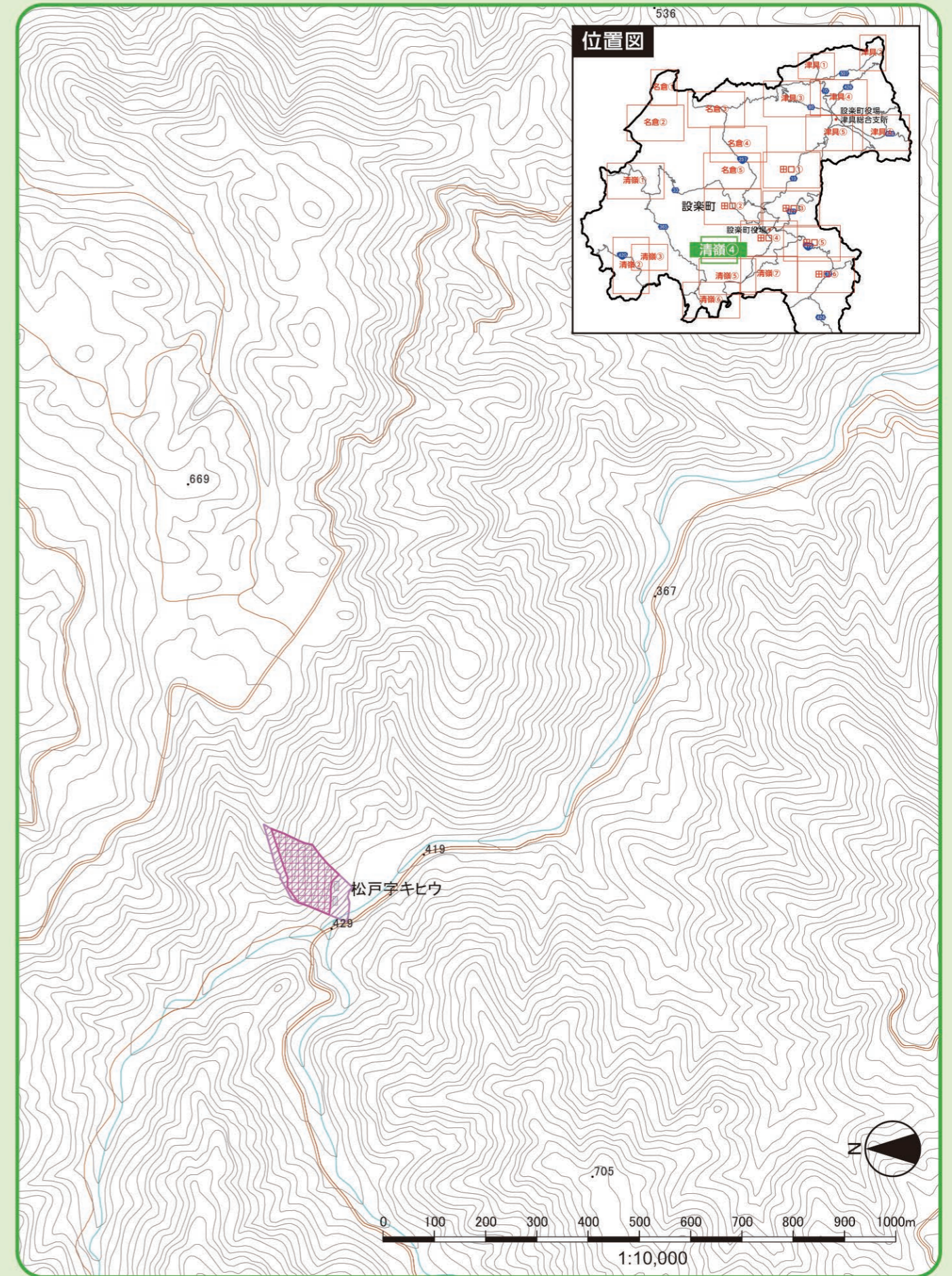
清嶺地域③



洪水浸水想定区域図		家屋倒壊等 氾濫想定区域
10.0~20.0m未満	0.5~1.0m未満	河岸侵食
5.0~10.0m未満	0.3~0.5m未満	氾濫流
3.0~5.0m未満	0.3m未満	
1.0~3.0m未満	対象河川	

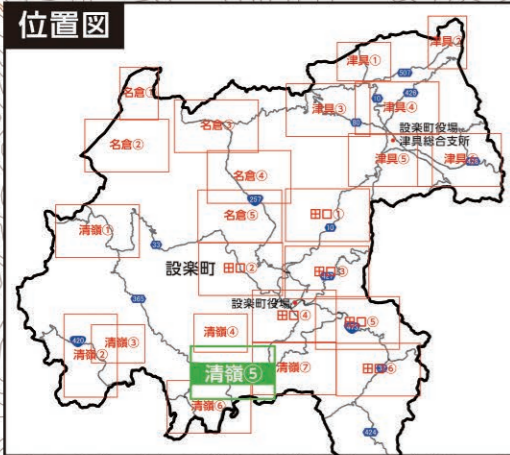
土砂災害		過去の土砂災害 発生箇所
土砂災害 特別警戒区域	土砂災害 警戒区域	がけ崩れ災害箇所
急傾斜地	急傾斜地	土石流災害箇所
土石流	土石流	河川氾濫災害箇所
地すべりはありません	地すべり	

清嶺地域④



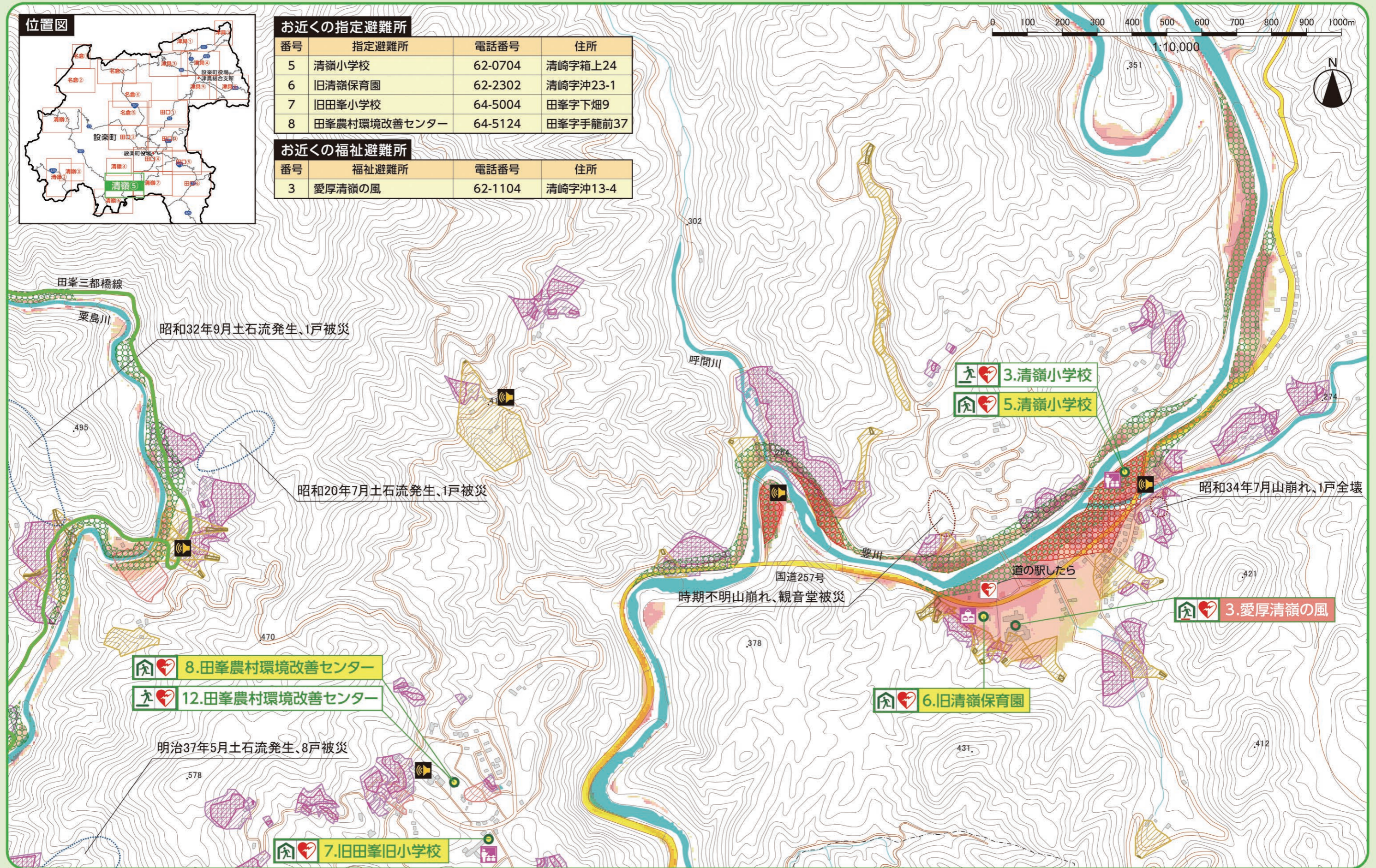
凡例		施設	
国道・県道等	市町村界	地区一時避難場所	消防署
緊急輸送道路	河川等	指定避難所	警察署駐在所
		福祉避難所	郵便局
		医療機関	学校
		保育園	役場
		AED	ヘリポート
		屋外子局	

清嶺地域 ⑤



番号	指定避難所	電話番号	住所
5	清嶺小学校	62-0704	清崎字箱上24
6	旧清嶺保育園	62-2302	清崎字沖23-1
7	旧田峯小学校	64-5004	田峯字下畑9
8	田峯農村環境改善センター	64-5124	田峯字手籠前37

番号	福祉避難所	電話番号	住所
3	愛厚清嶺の風	62-1104	清崎字沖13-4



8.田峯農村環境改善センター
12.田峯農村環境改善センター

7.旧田峯旧小学校

3.清嶺小学校
5.清嶺小学校

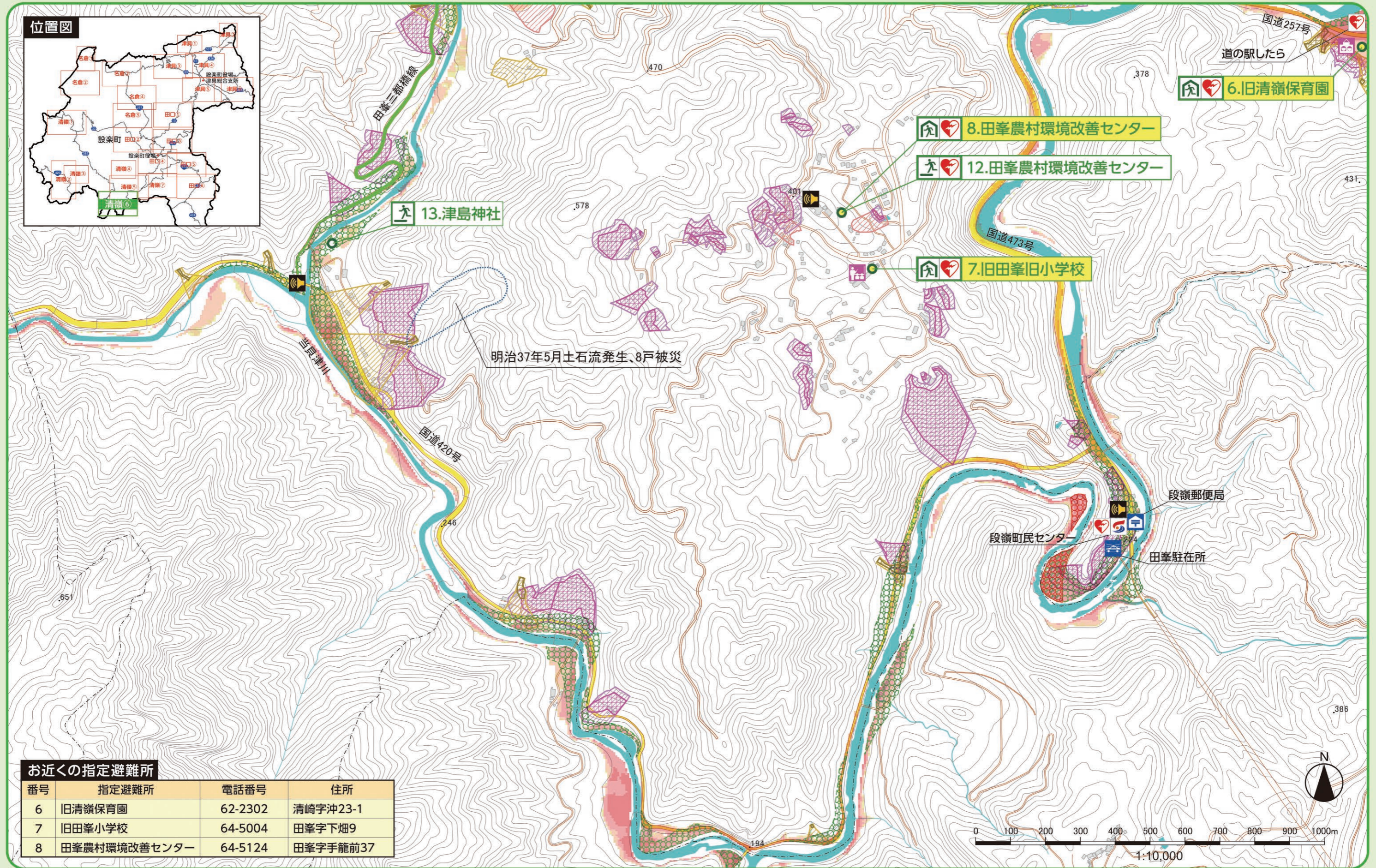
3.愛厚清嶺の風

6.旧清嶺保育園

浸水想定水深	対象河川
10.0~20.0m未満	対象河川
5.0~10.0m未満	
3.0~5.0m未満	
1.0~3.0m未満	
0.5~1.0m未満	
0.3~0.5m未満	
0.3m未満	

土砂災害特別警戒区域	土砂災害警戒区域	過去の土砂災害発生箇所
急傾斜地	急傾斜地	がけ崩れ災害箇所
土石流	土石流	土石流災害箇所
地すべりはありません	地すべり	河川氾濫災害箇所

国道・県道等	市町村界	地区一時避難場所	消防署	医療機関	AED	役場
緊急輸送道路	河川等	指定避難所	警察署駐在所	学校	ヘリポート	
		福祉避難所	郵便局	保育園	屋外子局	



お近くの指定避難所

番号	指定避難所	電話番号	住所
6	旧清嶺保育園	62-2302	清崎字沖23-1
7	旧田峯小学校	64-5004	田峯字下畑9
8	田峯農村環境改善センター	64-5124	田峯字手籠前37

洪水災害

洪水浸水想定区域図

- 10.0~20.0m未満
- 5.0~10.0m未満
- 3.0~5.0m未満
- 1.0~3.0m未満
- 0.5~1.0m未満
- 0.3~0.5m未満
- 0.3m未満
- 対象河川

家屋倒壊等氾濫想定区域

- 河岸侵食
- 氾濫流

土砂災害

土砂災害特別警戒区域

- 急傾斜地
- 土石流
- 地すべりはありません

土砂災害警戒区域

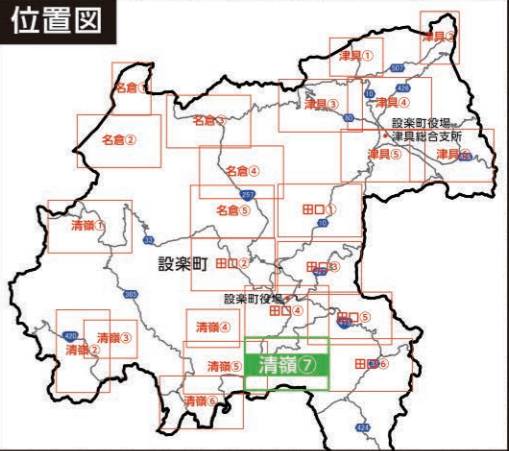
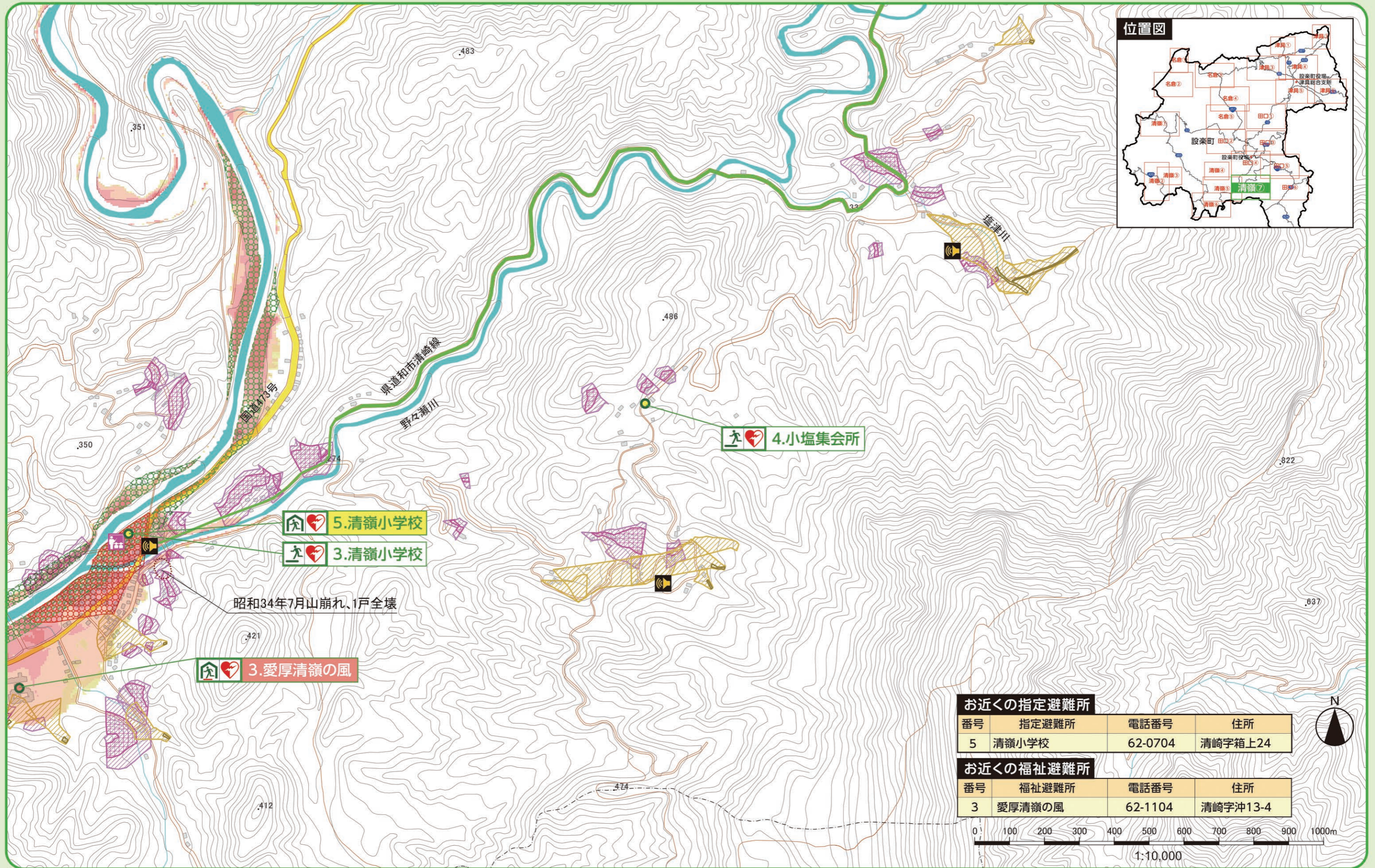
- 急傾斜地
- 土石流
- 地すべり

過去の土砂災害発生箇所

- がけ崩れ災害箇所
- 土石流災害箇所
- 河川氾濫災害箇所

凡例

- 国道・県道等
- 市町村界
- 緊急輸送道路
- 河川等
- 地区一時避難場所
- 指定避難所
- 福祉避難所
- 消防署
- 警察署駐在所
- 郵便局
- 医療機関
- 学校
- 保育園
- AED
- ヘリポート
- 屋外子局
- 役場

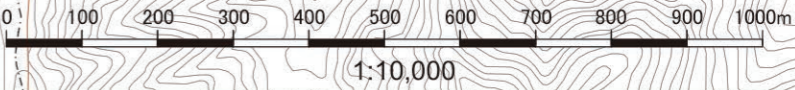


お近くの指定避難所

番号	指定避難所	電話番号	住所
5	清嶺小学校	62-0704	清崎字箱上24

お近くの福祉避難所

番号	福祉避難所	電話番号	住所
3	愛厚清嶺の風	62-1104	清崎字沖13-4



洪水災害

洪水浸水想定区域図

- 10.0~20.0m未満
- 5.0~10.0m未満
- 3.0~5.0m未満
- 1.0~3.0m未満
- 0.5~1.0m未満
- 0.3~0.5m未満
- 0.3m未満

**家屋倒壊等
氾濫想定区域**

- 河岸侵食
- 氾濫流
- 対象河川

土砂災害

**土砂災害
特別警戒区域**

- 急傾斜地
- 土石流
- 地すべりはありません

**土砂災害
警戒区域**

- 急傾斜地
- 土石流
- 地すべり

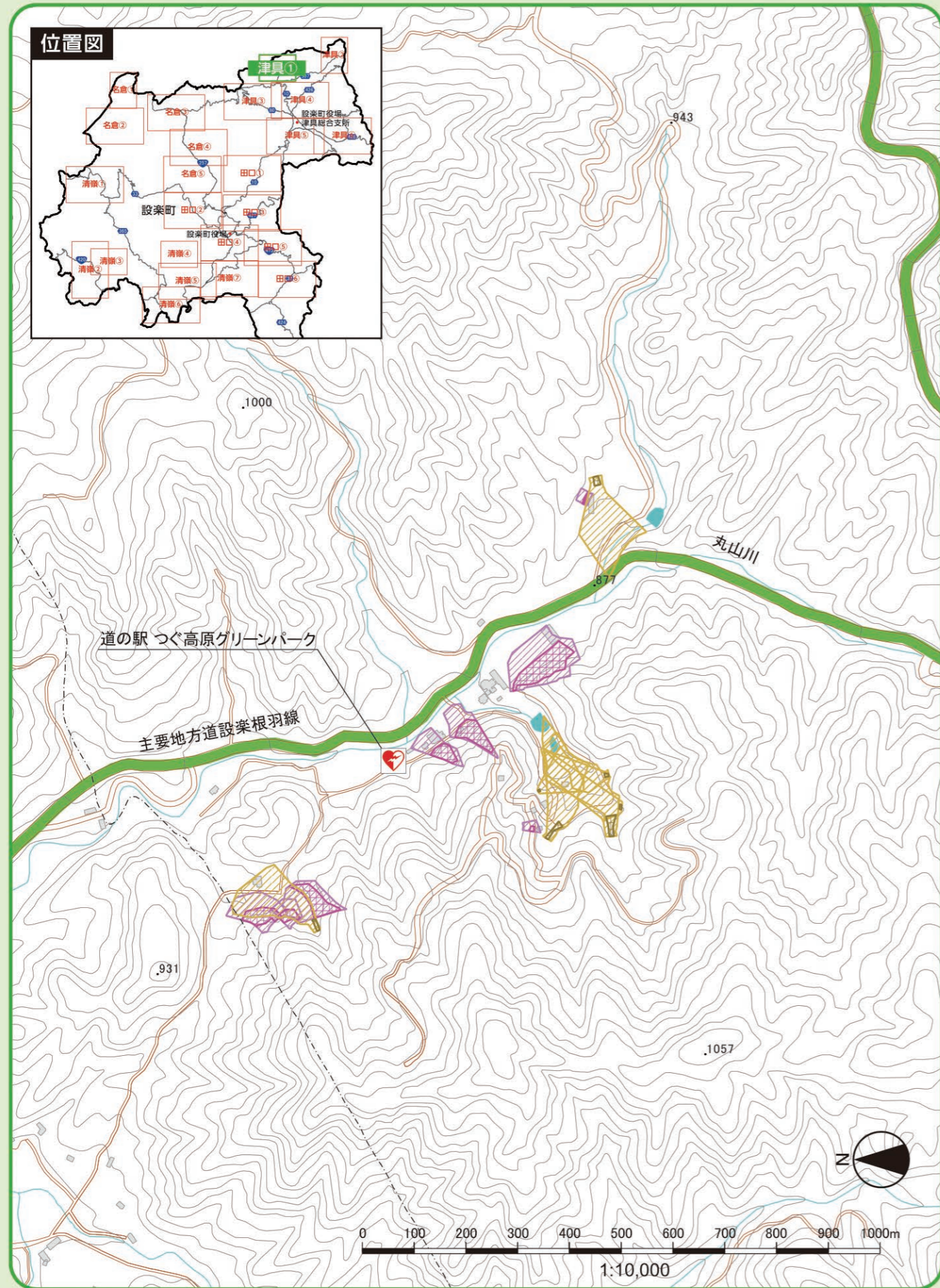
**過去の土砂災害
発生箇所**

- がけ崩れ災害箇所
- 土石流災害箇所
- 河川氾濫災害箇所

凡例

- 国道・県道等
- 市町村界
- 緊急輸送道路
- 河川等
- 地区一時避難場所
- 指定避難所
- 福祉避難所
- 消防署
- 警察署駐在所
- 郵便局
- 医療機関
- 学校
- 保育園
- AED
- ヘリポート
- 屋外子局
- 役場

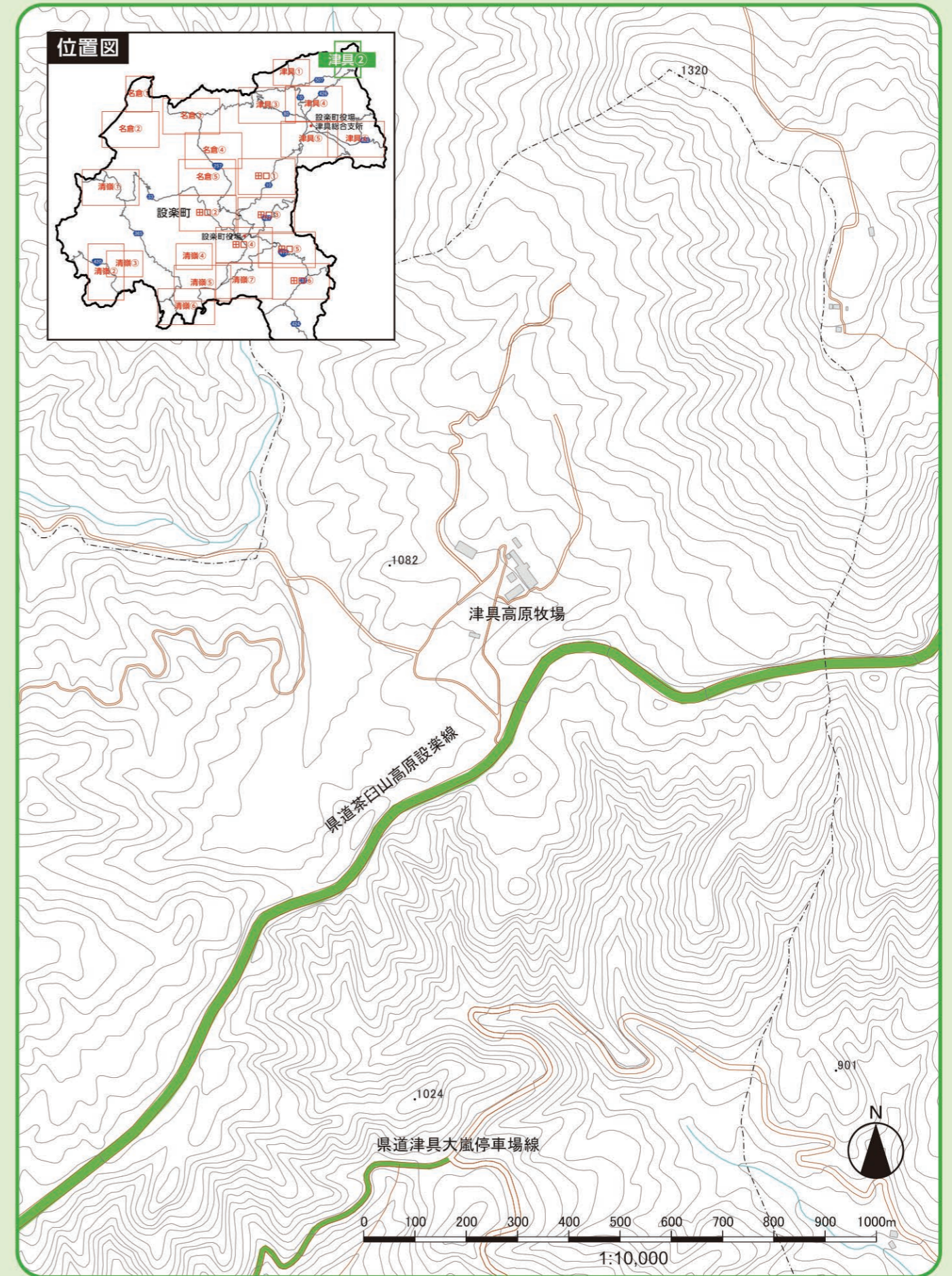
津具地域 ①



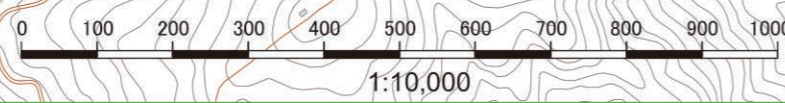
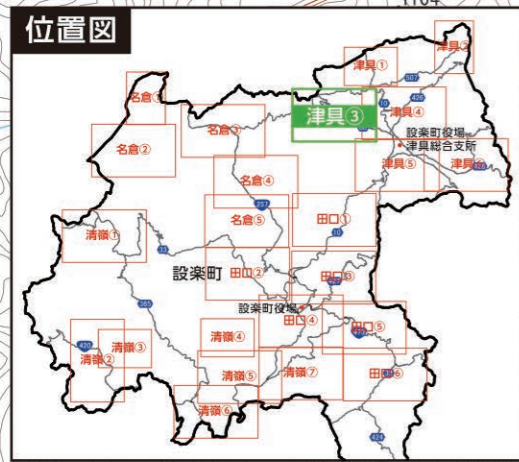
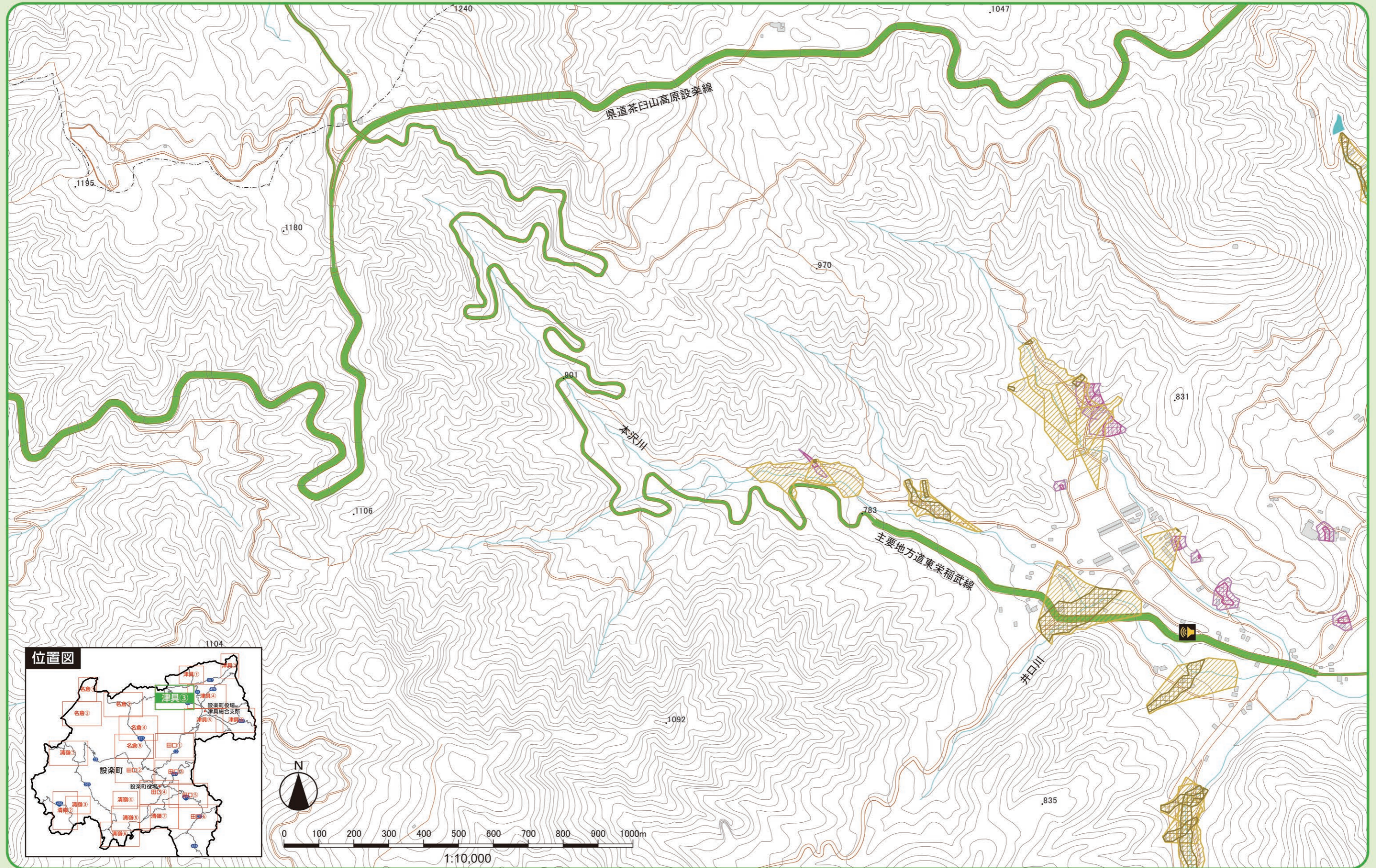
洪水浸水想定区域図	
10.0~20.0m未満	0.5~1.0m未満
5.0~10.0m未満	0.3~0.5m未満
3.0~5.0m未満	0.3m未満
1.0~3.0m未満	対象河川
家屋倒壊等 氾濫想定区域	対岸侵食
	氾濫流

土砂災害		過去の土砂災害発生箇所	
土砂災害 特別警戒区域	土砂災害 警戒区域	がけ崩れ災害箇所	土石流災害箇所
急傾斜地	急傾斜地	土石流災害箇所	河川氾濫災害箇所
土石流	土石流		
地すべりはありません	地すべり		

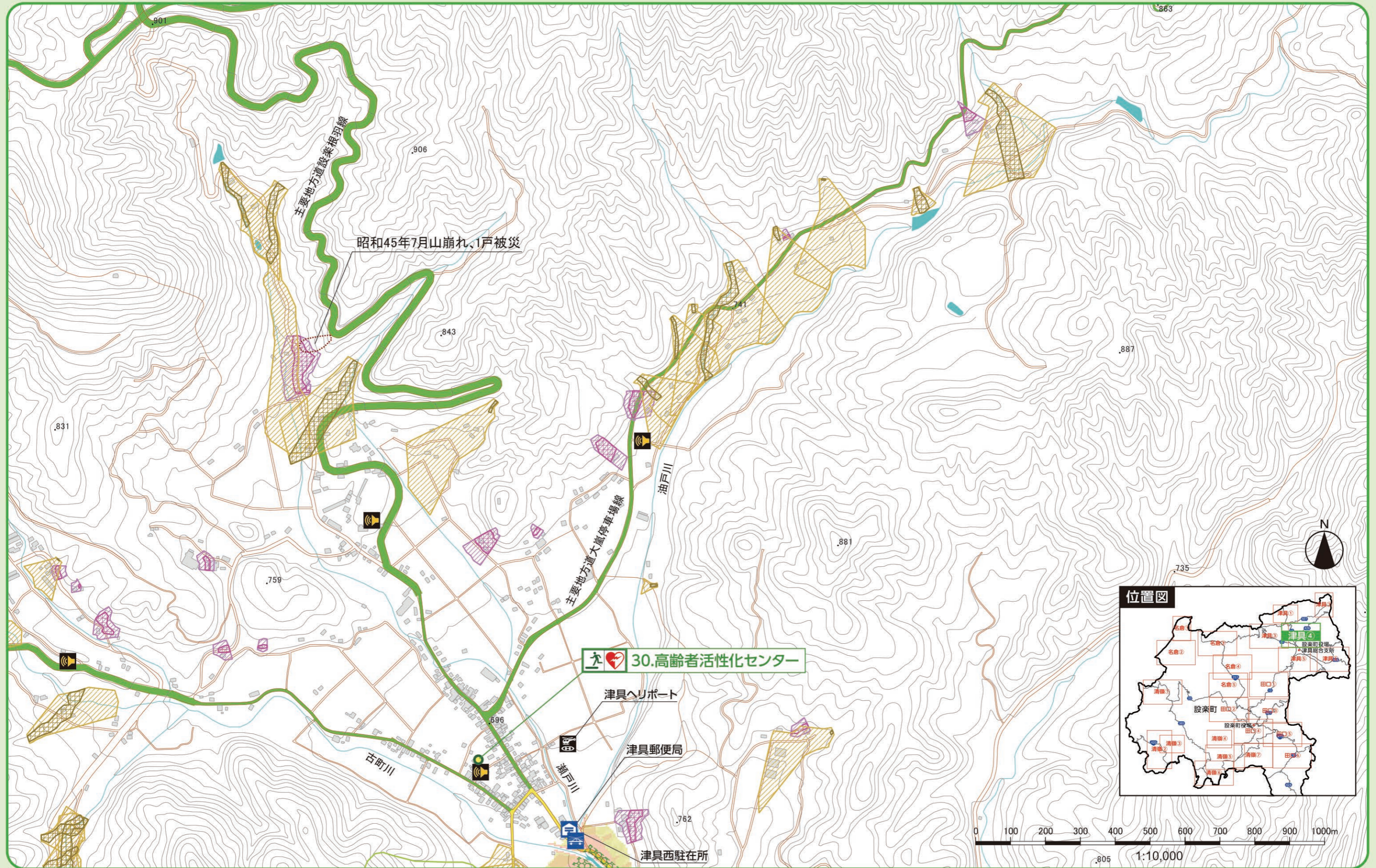
津具地域 ②



凡例		避難所		公共施設		その他	
国道・県道等	市町村界	地区一時避難場所	指定避難所	消防署	警察署駐在所	医療機関	AED
緊急輸送道路	河川等	福祉避難所		郵便局		学校	ヘリポート
						保育園	屋外子局
							役場



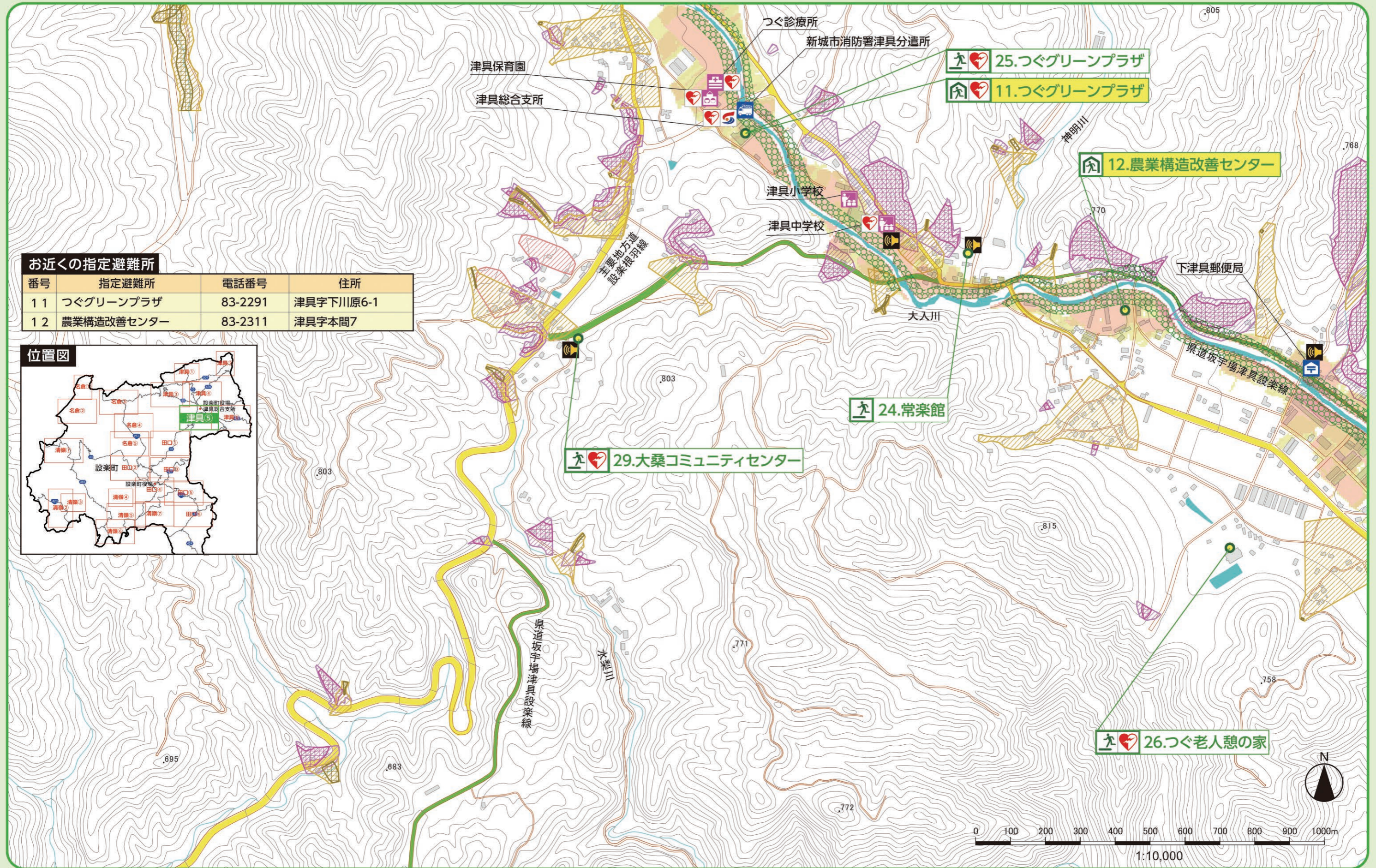
洪水災害 洪水浸水想定区域図 10.0~20.0m未満 5.0~10.0m未満 3.0~5.0m未満 1.0~3.0m未満 0.5~1.0m未満 0.3~0.5m未満 0.3m未満 対象河川	家屋倒壊等 氾濫想定区域 河岸侵食 氾濫流	土砂災害 土砂災害 特別警戒区域 急傾斜地 土石流 地すべりはありません	土砂災害 警戒区域 急傾斜地 土石流 地すべり	過去の土砂災害 発生箇所 がけ崩れ災害箇所 土石流災害箇所 河川氾濫災害箇所	凡例 国道・県道等 緊急輸送道路 市町村界 河川等	地区一時避難場所 指定避難所 福祉避難所	消防署 警察署駐在所 郵便局	医療機関 学校 保育園	AED ヘリポート 屋外子局	役場



洪水浸水想定区域図		家屋倒壊等 氾濫想定区域	
10.0~20.0m未満	0.5~1.0m未満	河岸侵食	氾濫流
5.0~10.0m未満	0.3~0.5m未満	対象河川	
3.0~5.0m未満	0.3m未満		
1.0~3.0m未満			

土砂災害		過去の土砂災害 発生箇所	
土砂災害 特別警戒区域	土砂災害 警戒区域	がけ崩れ災害箇所	土石流災害箇所
急傾斜地	急傾斜地	土石流災害箇所	河川氾濫災害箇所
土石流	土石流		
地すべりはありません	地すべり		

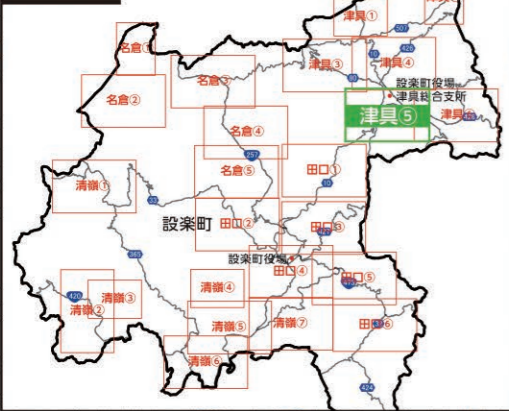
凡例		地図	
地区一時避難場所	消防署	国道・県道等	市町村界
指定避難所	警察署駐在所	緊急輸送道路	河川等
福祉避難所	郵便局		
医療機関	AED		
学校	ヘルポート		
保育園	屋外子局		
	役場		



お近くの指定避難所

番号	指定避難所	電話番号	住所
11	つくグリーンプラザ	83-2291	津具字下川原6-1
12	農業構造改善センター	83-2311	津具字本間7

位置図



25.つくグリーンプラザ
11.つくグリーンプラザ

12.農業構造改善センター

24.常楽館

29.大桑コミュニティセンター

26.つく老人憩の家

洪水災害

洪水浸水想定区域図

- 10.0~20.0m未満
- 5.0~10.0m未満
- 3.0~5.0m未満
- 1.0~3.0m未満
- 0.5~1.0m未満
- 0.3~0.5m未満
- 0.3m未満
- 対象河川

**家屋倒壊等
氾濫想定区域**

- 河岸侵食
- 氾濫流

土砂災害

**土砂災害
特別警戒区域**

- 急傾斜地
- 土石流
- 地すべりはありません

**土砂災害
警戒区域**

- 急傾斜地
- 土石流
- 地すべり

**過去の土砂災害
発生箇所**

- がけ崩れ災害箇所
- 土石流災害箇所
- 河川氾濫災害箇所

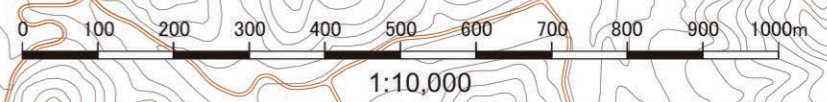
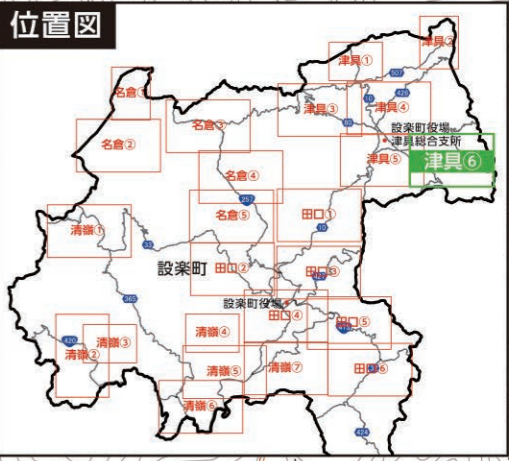
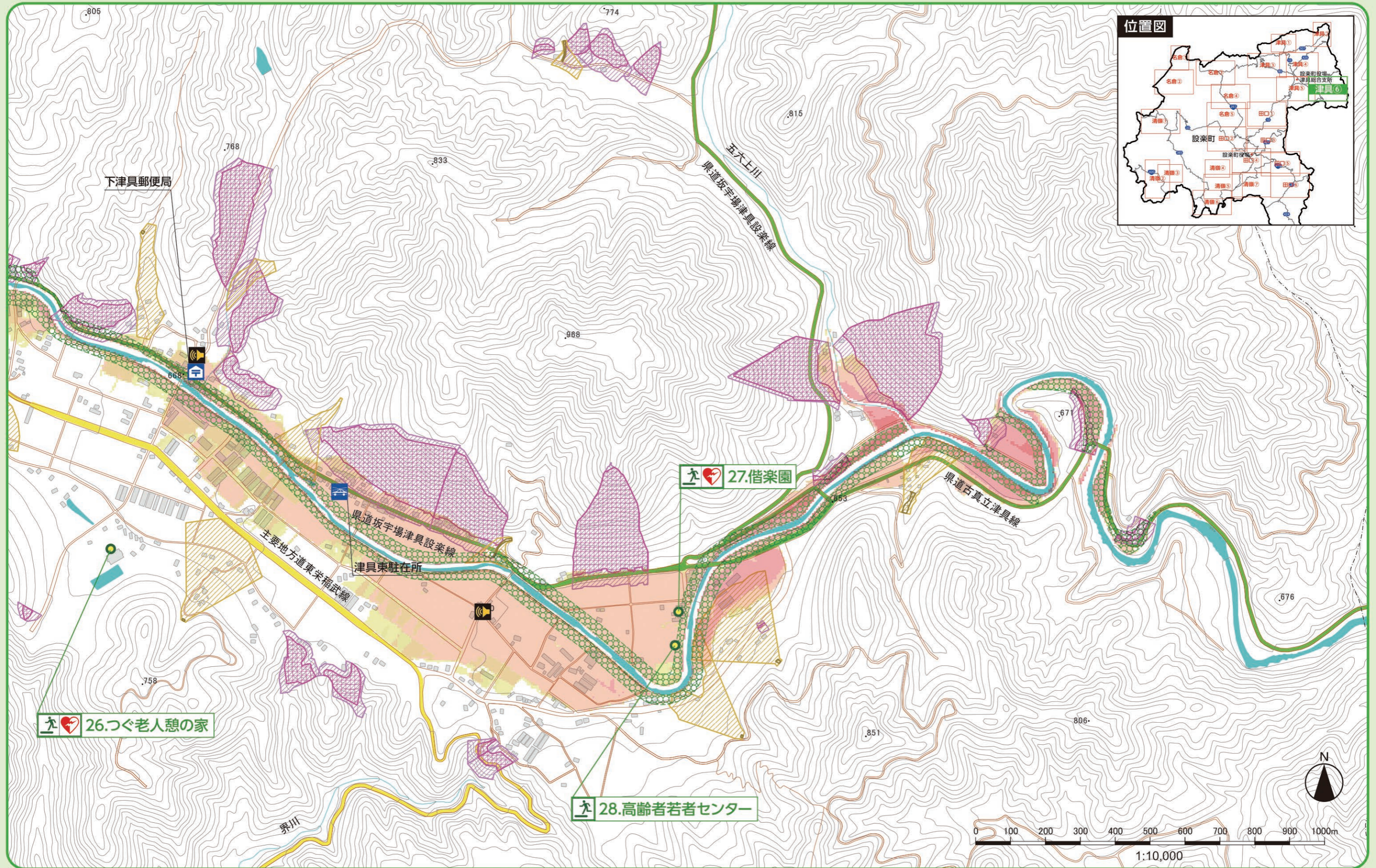
凡例

国道・県道等 市町村界 地区一時避難場所 指定避難所 福祉避難所

緊急輸送道路 河川等 消防署 警察署駐在所 郵便局

医療機関 学校 保育園 AED ヘルポート 屋外子局 役場

津具地域 ⑥



洪水災害 洪水浸水想定区域図 10.0~20.0m未満 5.0~10.0m未満 3.0~5.0m未満 1.0~3.0m未満 0.5~1.0m未満 0.3~0.5m未満 0.3m未満 対象河川	家屋倒壊等 氾濫想定区域 河岸侵食 氾濫流	土砂災害 土砂災害特別警戒区域 急傾斜地 土石流 地すべりはありません	土砂災害警戒区域 急傾斜地 土石流 地すべり	過去の土砂災害発生箇所 がけ崩れ災害箇所 土石流災害箇所 河川氾濫災害箇所	凡例 国道・県道等 緊急輸送道路 市町村界 河川等	地区一時避難場所 指定避難所 福祉避難所	消防署 警察署駐在所 郵便局	医療機関 学校 保育園	AED ヘリポート 屋外子局	役場

大雨通行規制路線図



異常気象時における道路通行規制

設案町内の国道・県道には、大雨などの異常気象時に雨量観測局の観測値が一定の基準値を超えた場合、大雨通行規制となる区間があります。

災害が発生する前に「通行止」の規制を実施しますので、防災情報を参考に早めの避難を心がけてください。

道路名		雨量観測局名	通行規制気象条件
種別	路線名		
主要地方道	東栄稲武線 ^(注)	津具・稲武	連続雨量 100mm 時間雨量 30mm
一般県道	茶臼山高原設案線	東納庫・津具・豊根	
一般国道	420号	設案・豊邦・守義	連続雨量 150mm 時間雨量 40mm
一般国道	473号	新畑・東栄・設案	
主要地方道	設案根羽線	設案・津具	
主要地方道	長篠東栄線	四谷・海老・設案	
主要地方道	瀬戸設案線	設案・東納庫・豊邦	
主要地方道	岡崎設案線	守義・豊邦・作手	
主要地方道	東栄稲武線 ^(注)	新畑・津具	
一般県道	田峯三都橋線	豊邦・守義・設案	
一般県道	津具大嵐停車場線	津具・豊根	
一般県道	坂宇場津具設案線	設案・津具・新畑	
一般県道	古真立津具線	豊根・津具・下黒川	
一般県道	八橋中設案線	新畑・設案・津具	
一般県道	和市清崎線	設案・四谷	

注：東栄稲武線の大雨通行規制区間は、豊田市稲武町との境界付近、北設案郡東栄町との境界付近に設定されています。それぞれの区間で規制条件が異なるのでご注意ください。

設案町の雨量や通行規制の情報

雨量情報 愛知県 川の防災情報
https://www.kasen-aichi.jp/RainfallHis_60_7_1.html

設案町ホームページ
<https://www.town.shitara.lg.jp>

愛知県 川の防災情報
 QRコードはこちら→

設案町ホームページ
 QRコードはこちら→



凡例

- 通行規制道路
- 国道・県道等
- 市町村界
- 河川等
- 役場
- 雨量観測局
- ▲ 山

設楽町地区一時避難場所一覧

地区一時避難場所

自主防災会地区	番号	地区一時避難場所	電話番号	住所	ページNo
栄町区	1	栄町会館	—	田口字居立2	19
本町区・萩平区	2	本町老人憩の家	—	田口字ヒロカイツ35	19
清崎区・田内区	3	清嶺小学校	62-0704	清崎字箱上24	32,35
小塩区	4	小塩集会所	—	清崎字牛ヶ久保5	35
荒尾区	5	養護老人ホーム宝泉寮	62-0784	荒尾字宝ノ久保9	20,21
和市区	6	和市公会堂	—	和市区字笠井47-2	21
小松区	7	小松長江老人憩の家	—	小松字中貝津14-1	17
	8	設楽森林組合	—	小松字横吹32	20,21
長江区	9	長江公会堂	—	長江字木屋田久保15-4	18
松戸区	10	松戸公会堂	—	松戸字向畑9	19
太田口区	11	田口山村トレーニングセンター	—	田口字矢高5-7	20
田峯区	12	田峯農村環境改善センター	64-5124	田峯字手籠前37	31,34
三都橋区	13	津島神社	—	三都橋字中貝津2	33
豊邦区	14	笠井島集会所	—	豊邦字神谷沢89	28
	15	豊邦交流センター	64-5436	豊邦字ホソノ10	28,29
裏谷区	16	豊川市野外センター きららの里	—	田峯字段戸1-1	26
沖駒区	—	—	—	—	—
清水区	17	清水公会堂	—	西納庫字戸ノ貝津6-1	7
川口区	18	川口区集会所	—	西納庫字広見5	8
貝津田区・大平区 東部区	19	名倉小学校	65-0004	東納庫字丸根2-6	9
湯谷区	—	—	—	—	—
東部区	20	東納庫老人憩の家	—	東納庫字ネギ田1-2	9
南区	21	南区研修所	—	東納庫字大桑90-1	10,12
神田区	22	神田町民センター	62-1819	神田字大石6	24
平山区	23	平山公会堂	—	平山字タキノ口4-1	22
津具1区	24	常楽館	—	津具字見出12-1	44
	25	つくグリーンプラザ	83-2291	津具字下川原6-1	44
津具2区	26	つく老人憩の家	—	津具字奥平山4-1	44,45
津具3区	27	偕楽園	83-2315	津具字大島24	45
	28	高齢者若者センター	—	津具字永引9	45
津具4区	29	大桑コミュニティセンター	83-2434	津具字南大桑11-2	43
津具5区・津具6区	30	高齢者活性化センター	—	津具字中町裏10	41

地区内に土砂災害警戒区域が存在しない、適当な施設がないために、地区一時避難場所を開設しない地区もあります。
一番近い場所にある地区一時避難場所や、安全なところにある親戚や近所の方の家に避難したり、垂直避難したりするなど、少しでも助かる確率の高い行動をしましょう。

設楽町避難所一覧

指定避難所

自主防災会地区	番号	指定避難所	電話番号	住所	ページNo
田口地区	1	田口特産物振興センター	62-0977	田口字向木屋3-1	20
	2	田口小学校	62-0059	田口字白根土1-1	17,20
	3	設楽中学校	63-0123	田口字大西8-1	17,20
	4	愛知県立田口高等学校 (体育館)	62-0575	清崎字林ノ後5-2	19
清嶺地区	5	清嶺小学校	62-0704	清崎字箱上24	32,35
	6	旧清嶺保育園	62-2302	清崎字沖23-1	32,34
	7	旧田峯小学校	64-5004	田峯字下畑9	31,34
	8	田峯農村環境改善センター	64-5124	田峯字手籠前37	31,34
名倉地区	9	名倉体育館	—	東納庫字ヲトシ山1-6	9
	10	名倉小学校	65-0004	東納庫字丸根2-6	9
津具地区	11	つくグリーンプラザ	83-2291	津具字下川原6-1	44
	12	農業構造改善センター	83-2311	津具字本間7	44

※赤字の指定避難所は地域の中で中心的な役割を果たす避難所です。

福祉避難所

番号	福祉避難所	電話番号	住所	ページNo
1	老人福祉施設やすらぎの里	62-0784	荒尾字宝ノ久保9	20,21
2	設楽福祉村キラリとーぷ	65-0370	東納庫字松山6-2、3	10,12
3	愛厚清嶺の風	62-1104	清崎字沖13-4	32,35

避難について①

「地区一時避難場所」と「指定避難所」の違い



地区一時避難場所

- ・風水害（土砂災害）などの危険から避難するために、各地区が開設する施設です。
- ・一時的な避難をする場所で、避難生活をする場所ではありません。
- ・食糧や生活必需品を持って避難します。
- ・地区一時避難場所へ避難したら、必ず役場へ連絡してください。



指定避難所

- ・地震災害や風水害（土砂災害）などの危険から避難したみなさんが一定の期間滞在できる施設です。
- ・建物を指定します。
- ・救援の拠点となり、避難生活をする施設です。
- ・食糧や生活必需品を持って避難します。



福祉避難所

- ・福祉避難所は、災害の規模に応じて開設される二次的な避難所です。
- ・避難所での避難生活が困難な災害時要配慮者（高齢者、障害者、乳幼児及びその親等）を対象とする避難所です。

避難の心得

状況により、すばやく避難しよう！

町から情報が来る前でも、雨の状況などから判断し、避難しましょう。

住所、氏名、連絡先などを記載した防災メモを持とう！

特に高齢者や子どもは、事前にメモを用意し、身に付けて避難しましょう。

非常持ち出し品は最小限にしよう！

非常持ち出し品はリュックサック等にまとめ、両手は自由に使えるようにしましょう。

避難場所等では係の人の指示に従おう！

避難場所等に着いたら、住所、氏名を報告しましょう。

避難場所等での3つのマナー

ゆずりあい

避難場所等はみんなが使うところです。限られたスペースしかありません。トイレの順番などは、ゆずりあいましょう。

おもいやり

避難場所等では大きな声を出したり、走り回ったりすると、まわりの人たちの迷惑になります。お互いに思いやりの気持ちで過ごしましょう。

たすけあい

ケガをしている人や体の不自由な人、また、病気の人なども避難場所等には集まります。みんなが少しでも快適に過ごせるように助け合いましょう。

外出中の家族には連絡メモを残そう！

「どこどこへ避難する」といったようなメモを残しておくとい良いでしょう。

集団で助け合おう！

単独での行動は避け、近所の人たちと集団で決められた場所へ避難しましょう。

安全なルートを選ぼう！

川べり、がけなどは避け、できるだけ安全な広い道を選びましょう。

避難について②

非常持ち出し品

日頃から非常時に備え、持ち出し品を用意しておきましょう。非常持ち出し品は**3～7日分を目安に用意**しておきましょう。

非常食・水



安全具・緊急薬品



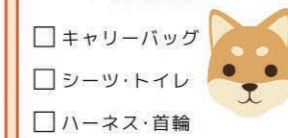
道具類



衣類



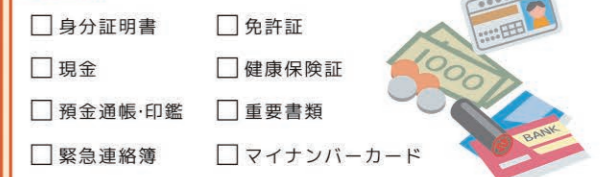
ペット必需品



感染対策用品



貴重品



阪神・淡路大震災では

こんなものが役立った！

パール、ドライシャンプー、ボディ洗剤、ホイッスル、ポリタンク、携帯コンロ、ブルーシート、常備薬、予備の眼鏡、補聴器、自転車など。

避難生活が長引く場合があると便利なもの

なべ（コッヘル）、携帯トイレ、使い捨てカイロ、裁縫セット、雨具、ガムテープ、地図、さらし（包帯・おしめ・手ぬぐい・ロープ・風呂敷などにも使えて便利）、筆記用具（マジックなど）、スコップ、文庫本など。子供がいる場合はおもちゃなども。

避難先でも3密を回避し、感染対策をしましょう

避難場所等やその他の避難先においても感染症対策はしっかりと行いましょう。とくに非常事態においては身の安全や食料の確保が優先される傾向にあるため、普段よりも感染症対策を疎かにしがちです。避難先で生活する際には3密を回避しましょう。

換気の悪い
密閉空間



多数が集まる
密集場所



間近での会話
密接場面






地域の防災～全住民で助け合おう～

安全安心の町づくりで地域防災力を高める

災害が発生した直後は、行政機関が支援活動を開始するまでに時間がかかる場合があります、隣近所にお住まいの方々との助け合いが何より重要となります。

日頃から地域の防災活動に参加し、災害時には地域住民が協力して避難誘導や救護活動をスムーズに行えるようにしましょう。

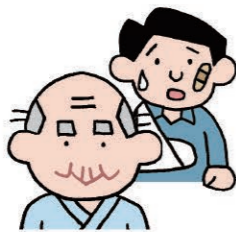
① 自助 自分と家族	② 共助 隣近所・自主防災組織	③ 公助 町・消防・警察
<p>平常時は・・・</p> <p>防災マップで周りの状況確認 避難場所等や避難経路の確認 非常持ち出し品・備蓄品の準備</p> <p>災害時は・・・</p> <p>家のガス・電気の確認 命を守る行動 家族の安否確認</p> 	<p>平常時は・・・</p> <p>地域の安全点検 防災資機材の購入・備蓄 防災訓練の実施</p> <p>災害時は・・・</p> <p>避難誘導や避難場所等の開設 要配慮者への安全確保 救出・救護活動</p> 	<p>平常時は・・・</p> <p>住民に対する啓発活動 基盤整備の推進 防災訓練の実施</p> <p>災害時は・・・</p> <p>情報収集と伝達 救出・救護活動 避難場所等の開設</p> 

自分の力で避難できない人(避難行動要支援者)を助ける

高齢者・障がいのある方・乳幼児・外国人の方たちは、災害時の避難行動に手助けが必要になる場合があります。日頃からコミュニケーションを取り、平常時にあらかじめ適切な避難方法・避難手順・役割分担を決めておき、早めの避難ができるようにしましょう。

① 高齢者・障がいのある方・病人やけが人の場合

災害時の援助者は日頃から決めておき、可能な限り複数人で対応してください。病气やけがの程度に応じて声をかける、手をそえる等の援助をしてください。



② 車いすを利用する人の場合

誰か一人は付き添うことが必須です。段差のある場所では冷静に対応しましょう。段差の高さによっては車椅子を運ぶ可能性もあるため、二人以上が理想です。



③ 目の不自由な人の場合

目の不自由な方には必ず声をかけてから手助けするようにしましょう。声だけの誘導が不十分な場合は腕を添えて誘導し、ゆっくりと歩きましょう。



④ 耳の不自由な人の場合

正面から大きく口を開けるようにして話しかけ、口の動きだけでも何を言っているかわかることを心がけましょう。口頭で伝わらない場合はできるだけ筆談するようにしましょう。

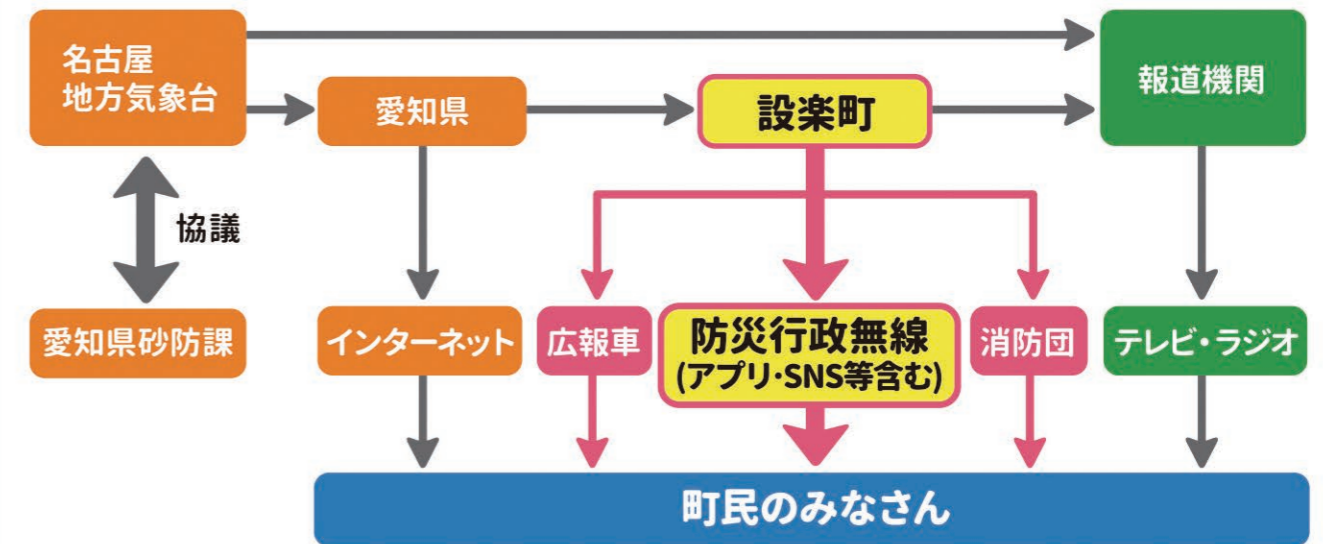


防災情報の入手方法

防災情報の伝達経路

土砂災害警戒情報の伝達経路

設楽町内で土砂災害発生の危険度が切迫してくると、名古屋地方気象台と愛知県砂防課が協議のうえ、下図の経路で土砂災害警戒情報が発表・伝達されます。警戒情報が発表されましたら、直ちに避難行動を開始してください。



災害情報の伝達

設楽町防災行政無線

町の行政情報や緊急情報をお届けします。屋外に放送する屋外拡声子局と、各家庭・事業所に設置され屋内で音声を流す戸別受信機があります。

●屋外拡声子局

屋外拡声子局は町からの情報発信だけでなく、連絡音声通話装置を備えていますので、非常時に役場への連絡手段としてご利用いただけます。また、手動により子局単体での放送やサイレンを鳴らすなど自局放送の機能も備えています。停電時はバッテリーにより最大で約72時間稼働します。非常時に備え防災マップで位置を確認しておきましょう。

●戸別受信機

戸別受信機の乾電池をチェックしましょう

1年に1回は乾電池を交換しましょう

停電時は乾電池から電源供給します。電源ランプが赤く点滅している場合、乾電池が切れていまして交換してください。乾電池は、単一形、単二形、単三形乾電池が使えます。使用時間の目安は、単一形アルカリ乾電池4本使用の場合約30時間です。ただし、時間の経過とともに電池残量は減りますので、定期的な交換や予備の乾電池を用意しておきましょう。

(※平成24年度戸別受信機の機種変更により一部のご家庭では仕様が異なります。)

●防災アプリ 令和4年度運用開始予定



防災気象情報
いつ逃げる？
レベルで判断！

避難の判断がよりしやすく

「一覧表」

	河川氾濫	大雨	土砂災害	高潮
警戒レベル5相当	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報
警戒レベル4相当	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報
警戒レベル3相当	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報
警戒レベル2	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報
警戒レベル1	早期注意情報			

POINT 警報・注意報の情報名に「レベル」が付記されます

●発表される警報・注意報の名称にレベルが付記されます。避難行動と直結するレベルがすぐわかり、避難判断の目安が明確になります。詳しくは裏面に。

【変更例】
(旧)「大雨警報」→(新)「レベル3大雨警報」
警戒レベル3(高齢者等避難)に相当

POINT 「警戒レベル4相当」の情報は「危険警報」として発表されます

●危険な場所から避難が必要な状況であるレベル4相当の情報が「危険警報」として発表されます。

【変更例】
(旧)「土砂災害警戒情報」
→(新)「レベル4土砂災害危険警報」

POINT 河川の氾濫の危険度の伝え方が変わります(特別警報の新設など)

●従来の「洪水警報」「洪水注意報」は廃止されます。今後は河川の区分に応じ伝え方が変わります。

【変更例】
(旧)「洪水警報」
→【洪水予報河川】※ (新)「レベル3氾濫警報」
→【洪水予報河川以外の河川】 (新)「レベル3大雨警報」
◎河川の氾濫に関し「レベル5氾濫特別警報」が新設されます。
※国土交通省または都道府県と共同で発表する洪水予報の対象河川

POINT 線状降水帯の発生などは「気象防災速報」として発表します

●極端な現象は新たに「気象防災速報」として発表します。
【変更例】
(旧)「顕著な大雨に関する気象情報」
→(新)「気象防災速報(線状降水帯発生)」
(旧)「記録的短時間大雨情報」
→(新)「気象防災速報(記録的短時間大雨)」

避難のタイミングは
レベルで判断

災害が起きる前に何をすべきか、レベルごとにチェック！



時間推移のイメージ

- 数日～1日前
レベル1 早期注意情報 ・災害への心構えを一段高める
・職員の連絡体制を確認する
- 半日～数時間前
レベル2 注意報 ・ハザードマップ等で災害リスクを再確認する
・自治体から発表される避難情報の把握手段を再確認する
- 数時間～3時間前
レベル3 警報 ・避難に時間がかかる**高齢者等は危険な場所から避難する**
・高齢者等以外の人にも必要に応じて避難の準備や自主避難
- 2時間～0時間前
レベル4 危険警報 ・**危険な場所から全員避難する**
※台風などにより暴風が予想される場合は、暴風が吹き始める前に避難を完了
- 災害発生
レベル5 特別警報 ・すでに安全な避難ができず、命が危険な状況
・今いる場所よりも安全な場所へ直ちに移動等する

災害の情報、
どう受け取る？

警報・注意報や気象防災速報は、テレビ、ラジオ、インターネット、防災アプリ、自治体の防災無線などを通じて伝えられます。あらかじめ情報入手手段の確認をお願いします。

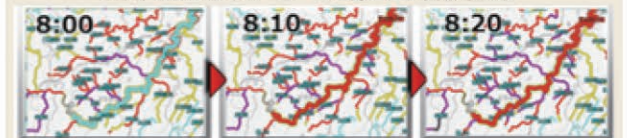


このあとどうなる？
をチェックしよう

警報等の情報が発表された際には、危険度を地図上に示したキキクルや、今後の危険度の推移を示した時系列情報(明日までの警報等の見通し)などを、気象庁ホームページで確認してください。



▼キキクル画面イメージ 10分ごとに更新される



▼時系列情報(明日までの警報等の見通し)

対象	時間	2024.09.11(水) 08:00	09:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00	23:00	24:00
大雨	警戒レベル	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
土砂災害	警戒レベル	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
高潮	警戒レベル	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2

地震について

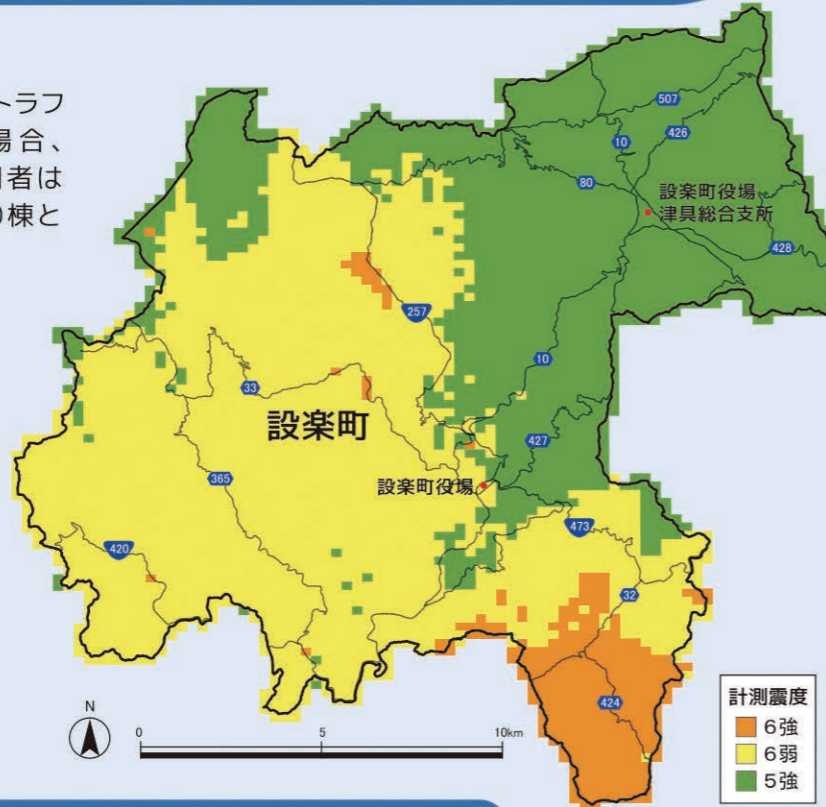
南海トラフ地震

マグニチュード9.0とされる南海トラフ地震では、被害が最大となる場合、愛知県内における死者・行方不明者は約23,000人、全壊は約380,000棟と想定されています。

南海トラフ地震 地表震度分布図

想定する地震動は5ケースのうち、揺れによる被害が最大となると想定される「陸側ケース」

出典：「平成23年度～25年度愛知県東海地震・東南海地震・南海地震等被害予想調査報告書【図3-4 最大想定モデルの地震（陸側ケース）による地表震度分布】より



震度による感じ方の違い

震度 0	・人は揺れを感じない。
震度 1	・屋内で静かにしている人の中には、揺れをわずかに感じる人がいる。
震度 2	・屋内で静かにしている人の大半が、揺れを感じる。
震度 3	・屋内にいる人のほとんどが、揺れを感じる。
震度 4	・ほとんどの人が驚く。 ・電灯などのつり下げ物は大きく揺れる。 ・座りの悪い置物が、倒れることがある。
震度 5 弱	・大半の人が、恐怖を覚え、物につかまりたいと感じる。 ・棚にある食器類や本が落ちることがある。 ・固定していない家具が移動することがあり、不安定なものは倒れることがある。
震度 5 強	・物につかまらなさと歩くことが難しい。 ・棚にある食器類や本で落ちるものが増える。 ・固定していない家具が倒れることがある。 ・補強されていないブロック塀が崩れることがある。
震度 6 弱	・立っていることが困難になる。 ・固定していない家具の大半が移動し、倒れるものもある。ドアが開かなくなることがある。 ・壁のタイルや窓ガラスが破損、落下することがある。 ・耐震性の低い木造建物は、瓦が落下したり、建物が傾いたりすることがある。倒れるものもある。
震度 6 強	・はわないと動くことができない。飛ばされることもある。 ・固定していない家具のほとんどが移動し、倒れるものが増える。 ・耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものが増える。 ・大きな地割れが生じたり、大規模な地すべりや山体の崩壊が発生することがある。
震度 7	・耐震性の低い木造建物は、傾くものや、倒れるものがさらに増える。 ・耐震性の高い木造建物でも、まれに傾くことがある。 ・耐震性の低い鉄筋コンクリート造の建物では、倒れるものが増える。

※気象庁資料より

設楽町防災アプリでできること

お知らせ



設楽町が防災行政無線で配信した、防災・行政情報をプッシュ&音声通知で、すぐに確認することができます。
(文字でも音声でも確認できます。)

リンク集



設楽町のホームページや各種防災情報などへ簡単にアクセスできるリンク集です。

【確認可能な内容】

- 設楽町ホームページ
- 停電情報お知らせサービス
- あいちAEDマップ
- 行政回覧

防災地図



設楽町が公開した災害情報や避難場所などの開設状況を地図上で確認することができます。
また、ハザードマップはオンライン・オフライン(事前ダウンロードが必要)対応で、いつでもどこでも、ハザードマップが見られます。

その他にも、様々な機能がありますので詳しくは、総務課消防防災室へお問い合わせください。

ダウンロード方法

各ストアから「設楽町防災アプリ」と検索していただくか下記QRコードからダウンロードをお願いします。



AppStore
(iPhone)



GooglePlay
(android)